

令和7年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

(令和6年度施策・実施事業分)

令和8年2月

宇陀市教育委員会

はじめに

宇陀市教育委員会では、教育行政のさらなる充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、ここに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書」（令和6年度施策・実施事業分）をまとめました。令和6年度に執行した教育委員会の主な事業を宇陀市教育大綱に基づく基本方針の項目ごとに分類し、目標の達成状況・進捗状況について教育行政点検評価支援員の意見を踏まえながら点検・評価しております。本報告書については、市議会に提出いたします。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

宇陀市教育委員会

教育長	田淵	泰央
委員	峯畑	忠郎
委員	山本	眞二
委員	鈴木	俊司
委員	橋本	道雄

1 施策・事業点検及び評価の実施概要

宇陀市教育委員会は、「宇陀市教育大綱」及び年度ごとの「宇陀市学校教育の指導方針」、「生涯学習振興指針」等に基づき、社会環境や財政状況に弾力的に対応した施策・事業を遂行しています。その具体的な取組に関して目標達成状況等を踏まえた点検・評価を行いました。

今回の点検・評価の対象は令和 6 年度に実施したうちの主な施策・事業です。

2 宇陀市教育行政点検評価支援員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条第 2 項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが点検・評価をした結果について学識経験者 2 人に点検評価支援員を委嘱し、教育面での効率性・有効性の観点から改善点などについてご意見をいただきました。

施策・事業を見直す上で、点検評価支援員の専門的で中立的な指摘を総合的かつ客観的に捉え、また、真摯に受け止め、職員の意識改革につなげてまいります。

■支援員の氏名

井上 正司 氏 （宇陀市在住）

南浦 孝代 氏 （宇陀市在住）

■点検評価支援員と教育委員会事務局職員による会議開催

令和 7 年 10 月 17 日（金） 午前 9 時～午後 5 時

〔教育委員会が行う事業の概略説明と質疑応答、点検評価支援員からの総括的な意見〕

3 教育委員会の主な運営・活動状況

総合教育会議において、宇陀市の目指すべき教育を「宇陀市教育大綱」としてまとめ、この大綱に基づく 4 つの基本目標とそれらを推進するための 23 項目の基本方針に則って課題に取り組んでいます。

本年度も、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 4 並びに第 14 条及び第 21 条に基づき、次に掲げる教育に関する事務を管理し、執行いたしました。

- ・教育委員会の会議
- ・総合教育会議
- ・教育方針及び教育計画の策定
- ・教育に係る調査及び統計
- ・学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止
- ・事務局及び教育機関の職員の人事
- ・児童生徒の就学
- ・学校の組織編制、教育課程、学習指導
- ・教科書その他の教材の取扱い
- ・事務局及び教育機関の職員の服務及び研修
- ・学校施設及び設備の整備
- ・教職員に対する指導助言
- ・学校保健
- ・学校給食
- ・生涯学習の振興に係る施設の企画及び調整
- ・社会教育の基本計画及び総合調整
- ・社会教育に関する施設の設置及び管理
- ・社会教育団体の指導育成
- ・家庭教育、青少年教育、成人教育及び公民館事業
- ・文化及び芸能の振興
- ・スポーツ・レクリエーションの指導奨励
- ・文化財の保護、活用及び啓発
- ・文化財の指定、調査、研究、記録及び資料の作成 等

(1) 総合教育会議の開催

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に基づき、1回開催されました。

■令和6年度第1回宇陀市総合教育会議（令和6年7月18日）

- ・宇陀市学校適正化基本計画（案）について

(2) 教育委員会の会議の開催

教育委員会の会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条及び「宇陀市教育委員会会議規則」に基づき、令和6年度は定例会11回と臨時会2回、合計13回の会議を開催しました。

教育委員会の会議は原則公開しており、令和6年度の傍聴者は13名でした。

(3) 教育委員会審議案件等の実績

教育委員会の会議では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「宇陀市教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、種々の案件について十分な議論、審議を行いました。

さらに、各担当課から所管する事務について詳細な報告や協議を行うことで、教育委員会と事務局が同一の施策の方針の下で、一層事業が充実、推進されたと考えています。

〈令和 6 年度の審議案件〉

■4 月定例教育委員会（4 月 24 日）

- ・宇陀市教育支援委員会への諮問について
- ・宇陀市教育支援委員会委員及び調査員の委嘱又は任命について
- ・宇陀市立学校における学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
- ・宇陀市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
- ・令和 6 年宇陀市議会第 2 回（6 月）定例会提出議案の意見について

■5 月定例教育委員会（5 月 29 日）

- ・令和 6 年度宇陀市教育行政点検評価支援員の選任について
- ・令和 6 年度宇陀市教科用図書選定委員会委員及び令和 6 年度宇陀市教科用図書選定委員会調査研究員の任命について
- ・令和 7 年度使用中学校教科用図書採択に係る諮問について
- ・宇陀市立学校における学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
- ・宇陀市立学校における学校運営協議会の設置について
- ・令和 6 年宇陀市議会第 2 回（6 月）定例会提出議案の意見について

■6 月定例教育委員会（6 月 28 日）

- ・宇陀市社会体育施設条例施行規則の一部改正について

■7 月臨時教育委員会（7 月 18 日）

- ・宇陀市教職員のハラスメントの防止等に関する規則について

■8 月臨時教育委員会（8 月 22 日）

- ・令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について

■8 月定例教育委員会（8 月 28 日）

- ・令和 6 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について
- ・宇陀市立学校における学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
- ・宇陀市立学校における学校運営協議会の設置について
- ・宇陀市立学校給食センター管理規則の一部改正について

- ・宇陀市学校給食費徴収規則の一部改正について
- ・宇陀市学校給食費等支援金交付要綱の制定について
- ・宇陀市特別支援教育就学奨励費支給に関する要綱の一部改正について
- ・令和6年宇陀市議会第3回（9月）定例会提出議案の意見について
- 9月定例教育委員会（9月30日）
 - ・宇陀市文化財保護審議会委員の委嘱について
- 10月定例教育委員会（10月30日）
 - ※審議案件はなし
- 11月定例教育委員会（11月27日）
 - ・宇陀市学校給食主任者会規程の制定について
 - ・宇陀市学校適正化基本計画について
 - ・令和6年度宇陀市教育支援委員会の審議結果について
- 12月定例教育委員会（12月26日）
 - ・宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について
- 1月定例教育委員会（1月29日）
 - ・宇陀市立学校における学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
 - ・宇陀市立学校における学校運営協議会の設置について
 - ・宇陀市立幼稚園給食費等支援金交付要綱の制定について
 - ・令和6年度宇陀市教育支援委員会の審議結果について
- 2月定例教育委員会（2月26日）
 - ・令和7年宇陀市議会第1回（3月）定例会提出議案の意見について
- 3月定例教育委員会（3月28日）
 - ・宇陀市いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について
 - ・宇陀市スポーツ施設等個別施設計画策定委員会設置要綱の一部改正について

(4) 教育委員会の会議以外の活動

■学校訪問

学校長等から、今年度の学校経営の重点項目、教育課程編成上の特色や創意工夫点などについて説明を受け、その後、「学校教育法施行規則」及び「宇陀市立学校の管理運営に関する規則」に基づく次に示す各種表簿を点検しました。

<各種表簿>

学校日誌・出勤簿・旅行命令簿・教育計画書（教育課程）
指導要録・健康診断に関する表簿・薬品管理簿等

学校施設・設備の視察・点検を行い、児童生徒等の学習活動・授業の様子を参観しました。

その後、改善点について意見交換を行うとともに、教育の課題を探り、学校長等に対し指導助言を行いました。

奈良県教育委員会が定める「奈良の学び推進プラン」ならびに「宇陀市学校教育の指導方針」に添った教育がなされているか、教育委員、教育長、指導主事及び事務局職員により、次に示す観点で実態を調査しました。

＜実態把握の観点＞

県及び市の学校教育に関する方針に添った重点施策
学校の経営方針・教育課程（教育方針と重点指導）
特別支援教育・道徳・人権教育・生徒指導・研究主題
職員研修・児童生徒の安全確保と危機管理・評価の実施と公開
家庭や地域との連携等

令和 6 年度は、5 月から 6 月にかけて、小学校 6 校、中学校 4 校、幼稚園 2 園、こども園 3 園、保育園 2 園を訪問しました。

〈令和 6 年度の学校訪問〉

◇榛原東小学校、榛原北保育園	5 月 16 日
◇大宇陀中学校、大宇陀小学校	5 月 23 日
◇大宇陀こども園、菟田野中学校	5 月 24 日
◇榛原西小学校、菟田野こども園、菟田野小学校	5 月 28 日
◇室生こども園、室生小学校	5 月 29 日
◇榛原東幼稚園、室生中学校	5 月 31 日
◇榛原幼稚園、しらゆり保育園	6 月 4 日
◇榛原小学校、榛原中学校	6 月 5 日

■教育委員・教育長研修等

以下の研修等を通じて、自己研鑽に努めるとともに教育事情調査や教育相談等の日常活動に努めています。

〈令和6年度の教育委員・教育長研修等〉

◇奈良県都市教育長協議会

4月16日 (奈良市)

8月5日 (橿原市)

10月21日 (奈良市)

2月14日 (奈良市)

◇市町村教育長・教育委員研究協議会

1月16日 (オンライン)

◇近畿都市教育長協議会定期総会

4月25～26日 (和歌山市)

◇近畿都市教育長協議会研究協議会

10月24～25日 (新宮市)

◇全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会

5月8～10日 (長崎市)

◇奈良県市町村教育委員会連合会会議

5月27日 (オンライン)

◇近畿市町村教育委員会連絡協議会・

奈良県市町村教育委員会連合会合同研修大会

11月13日 (天理市)

4 各施策・事業の取組状況と支援員の意見

各施策・事業点検評価シートは、「宇陀市教育大綱」に沿って、項目ごとに主な施策・事業を点検し、評価した結果です。

シート中の「達成度」「必要性」「有効性」とは、教育委員会が次の基準により判断したものです。

- | | | |
|---|------|----------------------------|
| A | 高い | (概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた。) |
| B | やや高い | (ほぼ目標を達成したが、改善の余地がある。) |
| C | やや低い | (目標をあまり達成できなかったため、改善を要する。) |
| D | 低い | (目標を達成できなかった。) |

令和7年度（令和6年度施策・実施事業分）一覧

宇陀市教育大綱に基づく主な施策・事業	自己評価			今後の方針
	達成度	必要性	有効性	
1 社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう				
1 小中学生基礎学力向上事業	B	A	A	2
2 教職員の研修事業	A	A	A	2
3 図書館機能充実事業	A	A	A	2
4 宇陀市図書館を使った調べる学習コンクール実施事業	B	A	A	2
5 外国語活動指導助手設置事業	A	A	A	2
6 小中学校情報機器等の活用	A	A	A	2
7 教育支援センター（はばたき教室）運営事業	A	A	A	2
8 中学校部活動地域移行事業	A	A	A	1
9 プログラミング教育推進事業	B	B	B	2
10 教育支援体制整備事業（支援員及び指導員の配置）	A	A	A	2
11 宇陀市学校適正化推進事業	A	A	A	1
2 家庭の豊かな教育力を育もう				
12 就学援助事業（就学援助・特別支援教育就学奨励費支給）	A	A	A	2
13 新学校給食センター建設事業	A	A	A	5
14 学校給食運営事業	C	A	A	2
15 教育相談事業	A	A	A	2
16 働く子育て世代の図書館利用の充実事業	A	A	A	2
3 地域全体で子どもを見守ろう				
17 子どもフェスタ事業	A	A	A	1
18 青少年健全育成活動	A	A	A	1
19 子ども活動支援事業	A	A	A	1
4 「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう				
20 通級指導教室運営事業	A	A	A	2
21 文化会館管理運営事業	B	A	A	3
22 文化会館大規模改修事業	B	A	A	3
23 公民館管理運営事業	A	A	A	2
24 各種講座・教室事業	A	A	A	2
25 社会教育推進講座事業	A	A	A	3
26 自主学习スペース管理運営事業	A	A	A	2
27 市美術展事業	B	A	A	2
28 宇陀シティマラソン事業	A	A	A	2
29 市民スポーツ大会事業	A	A	A	2
30 近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部	A	A	A	5
31 総合体育館・総合運動場運営事業	A	A	A	2
32 室内温水プール・テニスコート管理運営事業	A	A	A	2
33 夏休み小学校水泳教室事業	A	A	A	2
34 水泳教室事業	A	A	A	2
35 奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業	A	A	A	2
36 大人のための運動教室事業	A	A	A	2
37 重要伝統的建造物群保存地区保存事業	A	A	A	1
38 文化財保存修理等補助事業	A	A	A	1
39 埋蔵文化財発掘調査事業	A	A	A	2
40 史跡宇陀松山城跡保存整備事業	A	A	A	1
41 国指定天然記念物等保護再生事業	A	A	A	2
42 宇陀三城御城印作製事情	A	A	A	2
43 宇陀市歴史文化館管理運営事業	A	A	A	2
44 二十歳のつどい事業	A	A	A	1

自己評価 「A」高い「B」やや高い「C」やや低い「D」低い

今後の方針 「1」さらに重点化する「2」現状のまま継続する「3」見直しの上、継続する「4」事業の縮小・休止を検討する「5」終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	1
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	小中学生基礎学力向上事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	①確かな学力の育成と学習習慣の確立		
事業の目的・内容	<p>【目的】子どもの学力や学習状況に関する調査・研究を行うとともに、そこから見える諸課題の改善に向けた事業を行う。また、それら諸課題の改善に向けた取組について、研究校を指定し、その取組を支援するとともに、その成果発表会を行い市内全校への普及を図る。児童生徒の学習意欲、学力、学習習慣の向上を図る。</p> <p>【内容】宇陀市学力・学習状況調査の実施及び結果分析及び宇陀市生活行動・学習活動調査(学習生活アンケート)の実施及び結果分析 市、国の学力・学習状況調査の結果からまとめた「UDAスタンダード」(授業改善・家庭学習の習慣化)の推進及び実践交流 宇陀市研究校を指定し、幼小中の連携を推進</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】UDAスタンダード、学力向上プラン2021年から2024年を提示し、課題改善に向けた取組を実施できるよう研修会を実施する。また、研修会内容として自分の考えや思いを文章を使って表現する力を身に付ける効果的な指導を実践した学級の取組について提示する。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】授業の項目については年々改善され、UDAスタンダードが定着していると言える。事業を継続して実施する中で、今年度は、中学校数学で全国平均を1ポイント上回った。UDAスタンダード推進委員会の研修会では、3カ年の目標「自分の考えを書いたり、交流する活動の徹底」を具体的に提示した。また、それに対する各校の取組を交流し、継続して取り組むことで、少しずつ課題改善に向かった。特に読解力向上の取組を継続して実施し、学力テストの正答率を上げた学校の取組について紹介した。</p> <p>【課題】市・国の学力テストについて、まだまだ全国より低い傾向にあった。UDAスタンダード推進委員会で周知した内容を全職員が意識して取り組めていない。</p>			
		達成度	B	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>「UDAスタンダード」は、子どもたちの学習習慣の確立を大事にしている。やる気(意欲)、忍耐力、協調性、自制心などの「非認知能力」を高めることを大切に、「非認知能力」が高まれば「認知能力」も高まり、「認知能力」がまた「非認知能力」を高める。また、「学習意欲」は「学習習慣」が支えている。そういう意味からも、「UDAスタンダード」の浸透、定着を推進していただきたい。</p>
	<p>学校間での基礎学習能力の向上に向けての情報交換なども必要ではないかと考える。四項目の目標を網羅するためには、その支援も単純ではないと思うので、家庭との連携を図ることにより、更なる成果を期待する。</p>

今後の取組	<p>基礎学力の向上に向けた成功事例やつまづきポイントの情報交換を行える場の設定を行う。また、UDAスタンダード推進委員会については、実施時期や内容の検討を行い実施する。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	2
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教職員の研修事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	①確かな学力の育成と学習習慣の確立		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の教育に関わる独自課題、今日的課題の教職員研修を行い、教職員の資質・能力及び指導力の向上を図る。</p> <p>【内容】 宇陀市教育センター研修(7回) 宇陀市初任者研修(2回) 宇陀市特別支援教育コーディネーター研修(3回)</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】宇陀市教育の課題や地域の特色に合わせた研修を実施する。実施後アンケートの内容等を参考に評価していく。</p> <p>研修の開催方法については、対面形式とオンライン形式を組み合わせたハイブリッド研修を実施する。</p>
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】人権的視点で宇陀地域の歴史を視ると題して、各地域にスポットを当てた人権研修を行い、参加した教職員の多くが「とても参考になった」とアンケートの中で回答している。また、「今回の研修を今後活かしていきたい」といった肯定的な感想が多かった。研修の内容についても、市内で課題となっている初期対応について、多様なニーズに応えるマナーや対応力を習得するために接遇研修を行うことができた。開催方法については、対面形式とオンライン形式を組み合わせたハイブリッド研修をセンター研修7回中3回実施できた。</p> <p>【課題】令和6年度の研修内容をさらに深めていけるようにするとともに、引き続き、研修内容を精選しながら教職員の負担にならないよう実施していく。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>様々な課題にかかる研修を、内容や方法を工夫しながら実施していることが分かる。初期対応という点では、不審者(動物)侵入や突然の事故といった場面での安全対応など、市の研修を校内研修に繋げるような内容で実施するのもよいのではないかと考える。いざという時に児童生徒の安全が守れる学校でなければならない。</p> <p>様々な研修内容を受講することにより教職員が習得した社会人としての公衆接遇の在り方を、子どもたちにも反映して行ってほしいと考える。</p>

今後の取組	<p>宇陀市の教育課題に直結した研修内容を充実し、教育活動に直ちに反映できる実践的なプログラムを企画・実施する。引き続き柔軟な受講形態を取り入れ、移動時間の軽減や業務負担の軽減を行い、教員の働き方改革に配慮して実施する。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	3
------	---

事業の情報	事業名	図書館機能充実事業		担当課	中央図書館
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	①確かな学力の育成と学習習慣の確立		
事業の目的・内容	<p>【目的】市民の皆様に『いつでも、どこでも、誰でも』読書を楽しむことができる生涯学習環境をつくることを目指し、読書活動の推進を行う。</p> <p>【内容】図書館の機能を充実させるため、図書の実質や電子図書の利用促進を図るほか、図書館の魅力を発信する取組を行う。また、イベントの開催や利用者からのリクエストに応じたサービスを提供し、利用者の利便性向上を目指す。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】令和5年度実績の5%増の利用人数を目標(33,400人)とする。 利用者のニーズに即した選書と、リクエストによる購入を行い利用人数の増を図る。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】(令和6年度の利用状況) 利用人数 33,578人 貸出冊数 120,301冊 購入冊数 2,152冊(内リクエスト購入245冊) (電子図書利用状況) ログイン回数 1,488人 貸出冊数 1,282冊 購入冊数 224冊 ・賞を受賞した作家の本の特集を組み、目に付くところに展示することで手に取りやすく借りていただくように促した。 ・子どもを対象にスタンプラリーでスタンプを集めてプレゼントを配布するイベントを行い本を借りて頂く取組と図書館に来て頂くきっかけ作りをおこなった。(こども読書活動期間中 219人参加)</p> <p>【課題】図書館が提供するサービスについて市民への告知が十分に行われていないため、潜在的な利用者への認知度が低く、利用者が増えない状況である。新刊本の宣伝不足も合わせ効果的な広報の方法について改善する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>新規購入冊数は昨年度並であり、利用人数や貸出冊数は微増に留まっている。現在の図書館の状況を考えると書架数や読書スペースに制限があり、機能の充実という点では他館にはないような工夫が必要ではないかと思われる。利用人数の更なる増加を目指すためには、新規購入冊数の増加が必須であり、話題の新刊本が沢山、あるいは複数冊あると利用する人も増えると思われる。また、事前のネット予約の活用等の広報にも更に注力し、図書館の利便性を市民に広めてほしい。</p> <p>図書館にはあらゆる学習の場としての機能が必要とされる。市民等すべての利用者にとって、活用しやすい場となることを目指して事業を進めてもらいたい。</p>
------------	--

今後の取組	<p>蔵書増冊には予算の増額が必要であるので、予算の増額要求を行い新刊本の充実を図る。 利用者の方々からのリクエストによる購入や話題の新刊本の早期購入などを行うと共に、ネット予約やLINEからの予約など活用を進め身近な図書館として利用促進につなげる。 市内のイベントに出向き、タブレットを用いて電子図書の体験をしてもらい利用促進を図る。 除籍本や寄贈された本をリサイクル本として市内のイベント(子どもフェスタ・うだ産フェスタ)で提供を行い、本に触れる・読む・の機会提供をすすめ、SDGsとしても取り組む。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する

3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	4
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	宇陀市図書館を使った調べる学習コンクール実施事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	①確かな学力の育成と学習習慣の確立		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内の小中学校の児童生徒が、「調べる学習」を通じて学校や図書館の資料を活用し、「自らが考え、判断し、課題を解決する力」を育み、また、活動を通じて「必要な情報を集め、有効に活用する力」を養う。</p> <p>【内容】市内の小中学校の児童生徒が、学校・公立図書館の資料や自らが観察、実験するなどして様々な情報を収集、活用し、「調べる学習」を行い、コンクールに応募する。「調べる学習」により主体的に学ぼうとする意欲、知的好奇心を育む。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】応募作品数30作品</p> <p>学校図書室に『調べる学習』に関連する図書の展示や、調べる学習の進め方などサポートを行う。図書館では前年度に入選した作品の展示や、全国大会で入賞した作品のレプリカを展示すると共に、調べる学習に役立つ図書の展示を行うと共に必要な資料探しなどのサポートを行う。</p>			
-------	----------	---	--	--	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】小学校の図書室に啓発用パネルの設置や、調べる学習に役立つ図書の展示、また、希望により学習の進め方のオリエンテーションを実施。図書館では、必要な資料探しのサポートを行い、夏休み期間中に昨年度の入賞作品のレプリカ展示コーナーを設けるとともに、調べる学習に役立つ図書の充実を図った。その結果、小学校5校から15作品と中学校1校から6作品の応募があった。厳正なる審査の結果7作品の表彰を行い、上位2作品を全国コンクールに出展し『佳作』に入賞する。自らの疑問について調べることで、主体的に学び、知的好奇心を育むことにより、目標達成に向け、取り組むことができた。</p> <p>【課題】学校と連携し、学校支援業務を活用して、児童生徒に調べる学習の実施方法のレクチャーを行い、応募につなげる。</p>			
		達成度	B	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>全国コンクールへの作品の応募数や入賞者数だけを目標にするのではなく、図書館の強みを生かした活動を目標に掲げ、入賞作品や役立つ図書の展示等のサポートの実施を目標とすることで事業の幅が広がっていると感じる。また、調べる学習の進め方のオリエンテーションを実施したことも評価できる。今後は、図書館を通して地域の人材(研究者や大学生等)と子どもたちを繋ぐような取組に発展させるのもいいのではないかと考える。</p>
	<p>応募者が限られた人数になり、コンクールとしては小さく纏まってしまっている印象がある。応募形式にこだわらず、逆の発想で小中学生みんなに学習若しくは宿題として「調べる学習」を課題とすることも1つの手であると考える。</p>

今後の取組	<p>市内の小中学校に学校図書支援担当者(毎月2回)が出向いた際に、調べる学習コンクールに役立つ図書の展示とレクチャーを行い、一人でも多くの児童・生徒に参加を働きかける。</p> <p>図書館では、館内入り口付近に調べる学習に役立つ図書と昨年受賞した作品の展示コーナーを設けるとともに、調べる学習関連図書の新刊購入を行い児童・生徒の学びを支援する。</p>			
	方	針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	5
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	外国語活動指導助手設置事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑤情報活用能力を備えた国際感覚豊かな子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】ALTを設置し英語話者による授業を行うことで、実践的な英語でのコミュニケーションスキルを育むことを目的とする。また未就学児に対しても外国語を用いた活動を行うことで、早期から外国語に触れることができる環境を整備する。</p> <p>【内容】ALT(外国語指導助手)を配置し、市内小中学校においては、外国語活動授業において新学習指導要領に沿った主体的なティーチングを行う。市内各幼稚園・こども園・保育園・子育て支援センターにおいては未就学児に対しても外国語活動を行う。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】これまでに整備した環境を維持するためにALTを各施設に派遣する(ALT2人:1人あたり週4回程度)</p> <p>年1回ALTと市内児童たちが参加するイベントを企画開催する。</p> <p>ALTによる教職員向けの小学校外国語科指導者研修の実施する。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和5年度 ALT人数:2人、頻度:週4回(春夏冬休み祝日等除く)</p> <p>令和6年度 ALT人数:2人、頻度:週4回(春夏冬休み祝日等除く)</p> <p>夏休みにイベント「English Village」を開催、申込人数23人に対しアンケートに回答した21人全員が楽しかったと回答した。</p> <p>夏季休暇期間中に小学校教員を対象に研修を実施。各校より外国語担当の教員合計6名が参加。アンケートに対し全員が役に立ったと回答した。</p> <p>【課題】周知方法等を検討し、イベントへの参加者を増やしていく。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>将来的に国際的な環境で活動する子どもが多くなったり、国内でも日本を訪れる外国人との交流が多くなったりしている社会情勢から見て、英語に触れることにより、外国への興味関心が高まることが期待できる。夏休みの「English Village」等のイベント開催も、単にALTを派遣するだけに留まらない事業として評価できる。</p>
	<p>昨今の子どもたちを取り巻く環境は国際的な要素が多分にある。外国人との交流が増えてくる社会情勢からも、英語やその他の言葉などに触れさせ、外国語への関心を高めることが将来的にも重要である。教員への負担の度合いが不明であるが、指導者研修のより一層の充実を期待する。</p>

今後の取組	<p>ALT派遣について 頻度・人員は6年度と同等で行う(ALT2人:1人あたり週4回程度)</p> <p>イベントについて 頻度:年1回(夏休み期間) 内容:ALTと市内児童たちが参加する英語イベント</p> <p>研修について 頻度:年1回 開催時期を再検討する。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	6
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	小中学校情報機器等の活用			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑤情報活用能力を備えた国際感覚豊かな子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】デジタルデバイスを正しく使いこなすための基本的な操作能力、インターネットやデジタルリソースを活用して効果的に情報を検索し、その情報を適切に評価する能力など、情報リテラシーの育成を目的とする。</p> <p>【内容】市内全児童生徒に対しタブレット端末の貸与。家庭間格差の是正のためwifi環境の家庭に対しモバイルルーターを貸与。授業支援システム(オンラインでの課題提出等)、webフィルタリング、デジタルドリルの整備。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】市内全児童生徒に対してタブレット端末の貸与を不足なく行う。タブレット端末導入時から4年が経過し、各家庭での通信環境が整ってきていると考えられることから、モバイルルーター契約台数の最適化を行う。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】タブレット端末に関しては、児童生徒数が減少により新たに修理・追加購入を行うことなく全児童生徒へ貸与を行った。モバイルルーターの契約台数の最適化の結果、令和6年4月と令和7年3月を比較して、月当たりの運用費用が約5%減少した。加えて、授業支援システム、webフィルタリング、デジタルドリルについては引続き利用できるよう、アカウント等の年度更新作業を大きなトラブルなく行った。また既存のwebフィルタリングに加え、広告ブロック機能も別途費用発生することなく追加することができた。</p> <p>【課題】次年度に端末更新等を予定しているため適切に準備していく。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>インターネット上の様々な脅威や誤った使用が指摘・報告されている。それらを防ぐために「使用させない」ではなく、積極的に活用させ、失敗もあるだろうが、正しいIT活用能力を身に付けさせてほしい。ネットいじめや差別投稿等も問題視されるが、これまでも進めている人権教育や生徒指導等の取組がなお一層大切になる。</p> <p>これからの社会では、デジタルデバイスを正しく使いこなすための能力や、インターネットを活用する能力などが必須となるため、この事業を継続して進めることで、子どもたちを育成することが重要であると考えます。</p>
------------	---

今後の取組	<p>端末の更新(1650台) 予備機を含んで更新することで、故障等にも柔軟に対応できる体制を整える。 授業支援サービス・フィルタリングの整備 授業支援及びフィルタリング機能を備えたサービスの更新を行い、IT活用能力の育成と安全なインターネット利用を促す。</p>	方針	2
-------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	7
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教育支援センター(はばたき教室)運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑥子どもの多様な教育ニーズに対する支援体制の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市内小中学校の不登校児童生徒の自立を図り、在籍校への復帰を支援するとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。</p> <p>【内容】個々の状況に応じた適切な指導や相談に応じるとともに、学習機会を確保する。また、子どもの不登校に悩んでいる保護者や教職員に対しての相談業務も行う。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】不登校児童生徒が、家の事情等で通室できないなど、学習の機会を失うことのないよう、子ども居場所支援事業「つどい」と情報共有し、連携を強化する。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】6月の場所移転時は3名の通室生徒だったが、「つどい」と子どもたちの家庭状況等の情報を共有し、連携を図ることで、令和7年3月には在籍者5名、仮入室1名となった。(日中は「はばたき」に通室し、夕方から「つどい」で過ごす生活リズムを整えることができた。)そのなかの中学3年生2名を県立高校へ繋ぐことができた。また、県のフレキシスクール試行(オンライン教育システム)に参加し、通室児童生徒の学習意欲を高めた。</p> <p>【課題】在籍校復帰や進学に向けた学力保障が課題である。学校との連携を一層深め、通室児童生徒の状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習意欲を高めたい。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>場所移転により、新たに開設された「宇陀ほっとスペース つどい」との連携が密になり、より手厚い対応が可能になったと思われる。不登校に対する社会全体のマイナスイメージを払拭し、不登校は誰にでも起こりうるということを社会全体が共通認識し、支援の取組が進むよう、相談活動も含めた現在の事業を丁寧に継続していただきたい。また、市のWebページでも「はばたき」と「つどい」がスムーズに繋がるようことも未来課との連携を強めていただきたい。</p>
	<p>「つどい」との連携した情報共有の結果の成果であると思われる。不登校児童や生徒の対しての学校や家庭を取り巻く様々な環境への理解を得るために、あらゆる機会を通しての啓発も重要である。また、フレキシスクールを通して一人でも孤立しないで安心して学べる環境作りに一層の工夫を期待する。</p>

今後の取組	<p>はばたき教室の周知には、学校と関係機関の協力が不可欠であるため、各機関と連携して幅広く啓発していく。また、引き続き通室児童生徒の個に応じた学習の保障、支援の充実に取り組む。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	8
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	中学校部活動地域移行事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑥子どもの多様な教育ニーズに対する支援体制の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】中学校部活動は、少子化による部員数の減少や教員の働き方改革を踏まえ、奈良県では令和8年度より、教員の指導による休日の学校部活動を廃止するとの方向性が定められた。宇陀市においても、令和8年度から休日における教員の指導による学校部活動を廃止するとともに、休日にも、スポーツや文化芸術、科学等に親しむ機会を確保するための取り組みを進めることを目的とする。</p> <p>【内容】宇陀市部活動地域移行推進協議会を設立し、令和8年度の地域移行がスムーズに進むよう協議し実証事業を実施し宇陀市にふさわしい地域移行を検討する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】宇陀市部活動地域移行推進協議会において、宇陀市にふさわしい地域移行を協議・検討するため実証事業(宇陀クラブ)の実施する。(クラブ員の募集、指導者の募集)
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】令和6年11月から、3種目(卓球、剣道、陸上競技)の宇陀クラブ(実証事業)を開始した。また、指導者の登録受け付けを開始し、16種目36名の登録を受けている。					
		【課題】実証事業を実施するには、緊急時の対応等のため1種目につき最低2名の指導者で活動することを条件としている。複数人登録された種目もあるが、指導者不足が課題である。					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	中学校の部活動地域移行にはさまざまな障壁があると思うが、スムーズに進めるために、どのような方策が有効なのか、一つ一つ検討しながら進めてもらいたい。
	指導者の確保は必要不可欠である。休日の子供を取り巻く環境は地域性や様々な家庭環境もある中で、子どもたちが自由に活動できるよう、保護者との連携や綿密な計画・企画も必要となってくるのではないかな。

今後の取組	令和7年度には、令和6年度に実施した実証事業3種目を継続実施し、指導員が確保し、準備ができ次第、新たな種目の実証事業を実施する。協議会において協議し「宇陀市部活動地域移行推進計画」の策定する。 令和8年度4月からの地域クラブ「宇陀クラブ」開始に向けて、準備を進める。
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	9
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	プログラミング教育推進事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】平成29年3月に告示された新学習指導要領において、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられたことにより、「プログラミング的思考」を育成する。</p> <p>【内容】教育委員会で整備したプログラミング関連教材の活用を推進する。ICT活用に関する知識と実践力を有する教員を育成する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】中学校におけるプログラミング教育の推進を図る。
-------	----------	-----------------------------

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】中学校指導要領各教科技術・家庭科において「情報に関する技術」の中では双方向性のあるコンテンツのプログラミングを扱うことになっていることや、高校の「情報I」への接続について研修会で伝え、教材の活用方法についても説明会を実施した。教材については、3校が取組を進めることができた。</p> <p>【課題】技術科において授業時数の制約があり、十分取り組めなかった学校もあった。市が保有のプログラミング教材の修理・購入についての計画が進まなかった。</p>			
		達成度	B	必要性	B

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>プログラミングを中学校の技術・家庭科(技術分野)で履修し、高等学校の情報科に繋ぐというのは、かなり無理のある流れであると思うので、なかなか進まない現状も理解できる。プログラミング的思考というのは論理的思考の一部であり、コンピュータ自体がプログラミング思考で動くため、プログラミングで学ぶことが有効だとされているが、実際には授業時間の確保や体系化に課題が残ると思われる。市教委が準備した教材を入り口にして、各校で粛々と取組を進めていただきたい。</p>
	<p>一定の成果はみられるものであるが、環境の維持とともに、今後も教員等の指導力の育成は欠かせないものであると思うので、地道に継続して欲しい。</p>

今後の取組	<p>教員の指導力の向上をめざして、研修の実施とサポート体制の整備に取り組む。また、プログラミング教育年間指導計画及び、中学校における年間指導計画の確認も行う。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	10
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教育支援体制整備事業(支援員及び指導員の配置)			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】少人数に分けた学習指導や、学習の定着が不十分な児童に対しきめ細やかな学習指導を行うための人員配置及び教員が児童生徒への指導や教材研究等に一層注力できるよう、教員の業務を支援する人材を配置することで、教員の業務負担軽減を図る。</p> <p>【内容】小学校に学習指導員を配置するとともに、市内の全ての小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】各校に人員の配置を行い、配置した人員の業務を明確にし、教員の業務負担を軽減できる体制を各学校で確立する。			
-------	----------	--	--	--	--

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】小学校6校に配置した学習指導員については、学習指導への効果があったとの回答を担当教員へのアンケート調査からも得ることができた。また、小中学校に配置した教員業務支援員についての成果としては、10校中7校において月当たりの教員の勤務時間を昨年度と比べて5%以上削減ができた。			
		【課題】教員業務支援員の業務については、学校において明確に決まった業務がなく、時期や日によって業務量にばらつきがでる学校があったため、一定の業務について画一化する必要がある。			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>新型コロナウイルス感染症に対応するための教育活動支援として始まった事業だが、コロナ対策が少し和らいでも学校には対応しなければならない問題が多くあるため、今後も継続願いたい。ただ、学校によって仕事量にばらつきが出るということは、学校によっては有効活用できていないということになるため、学校への指導が必要である。</p> <p>徐々に成果が形として現われてきている中、今後も教員の働き方の実態を考慮した現場の人員配置を行っていただきたい。</p>
------------	--

今後の取組	<p>今後も引き続き、学習指導員及びスクールサポートスタッフの人員配置を行い、児童へのきめ細やかな学習指導及び教員の業務負担の軽減を図る。各学校での業務を計画し、学校毎に適したサポートを年度を通して行えるような体制を整えていく。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	11
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	宇陀市学校適正化推進事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市学校適正化推進委員会からの答申に基づき、小中学校の適正化を具体的に推進し、子どもたちのたくましく生きる力を育てるための教育環境整備に取り組む。</p> <p>【内容】小中学校の適正化を具体的に推進する「宇陀市立学校適正化基本計画」を策定するため、庁内会議や総合教育会議を開催し、小中学校の適正化及び教育内容の充実に関することについて検討する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】宇陀市学校適正化推進委員会からの答申を踏まえながら、庁内での会議等を円滑に運営し、令和6年度中に「宇陀市学校適正化基本計画」を策定する。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】「宇陀市学校適正化基本計画」の策定に向けて、宇陀市学校適正化基本計画策定に係る庁内会議を開催し、市としての計画内容を検討することができた。さらに、総合教育会議を開催し、基本計画に係る意見を伺い、令和6年12月に「宇陀市学校適正化基本計画」を作成することができた。				
		【課題】「宇陀市学校適正化基本計画」に係る住民説明会を令和7年2月に小学校区ごとに開催したが、基本計画に対する様々な意見もあり、今後も、地域住民、保護者等への丁寧な説明が必要である。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	計画通りに進めているという印象だが、様々な意見があるようなので、地域住民の不信感が大きくならないよう丁寧に進めてもらいたい。幅広く住民の意見を聴き、それが少しでも反映されたと思えるような結果にしてほしい。
	将来的な統合なども踏まえて、教育環境に対する保護者や地域住民には様々な意見が存在するのは確かである。「宇陀市学校適正化基本計画」の繰り返しの説明が必要である。

今後の取組	学校適正化の実施に当たり、児童生徒や保護者、教職員への負担等、様々な課題が出現することが想定される。実施期間中には、児童生徒の学習活動等に支障が出ないように十分配慮するとともに、適正化について確定した内容については、保護者や地域住民への周知等、速やかな情報共有を行う。
	方 針 1

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	12
------	----

事業の情報	事業名	就学援助事業(就学援助・特別支援教育修学奨励費支給)		担当課	教育総務課	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう			
		Ⅲ基本方針	⑧基本的な生活習慣と規範意識の定着への支援			
事業の目的・内容	<p>【目的】経済的な理由等によって就学に必要な費用の支払が困難な保護者に対し、その一部を援助し、義務教育の円滑な実施に資する。</p> <p>【内容】学用品費、給食費、修学旅行費等、就学に必要な費用の支払が困難な保護者に対し、必要な費用を給付する。対象者は宇陀市内の小中学生及び特別支援学級に在籍する小中学生等である。</p>					

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級へ就学している児童生徒の保護者の経済的な負担を軽減するための制度であるため、経済情勢に即した基準の見直しを行う。また、制度内容の周知を積極的に行い、基準を満たす全世帯に対し、誰もが均等に教育を受けるために必要な援助を行う。</p>
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】近年の物価上昇に対応できるように援助の対象基準を緩和し、制度についての周知については学校を通じて保護者に確実に伝わるよう文書配付を行い、新入学生への保護者には入学説明会などで制度の周知を図った。令和6年度の支給者数は小学校92人、中学校73人、特別支援79人であった。</p> <p>【課題】保護者の教育費負担は、近年の物価上昇などを背景に増加している現状がある。こうした変化に対応するためには、今後も経済情勢に即した基準づくりが必要である。</p>				
		<table border="1"> <tr> <td>達成度</td> <td>A</td> <td>必要性</td> <td>A</td> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> </table>	達成度	A	必要性	A
達成度	A	必要性	A	有効性	A	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>物価が高騰し、経済的な困難を背負う保護者に少しでも寄り添える施策にしていいため、可能な限りの基準の検討・見直しをしていただいていることに感謝したい。また、他課との連携も必要になると思うが、ヤングケアラーに対する支援(施策)も検討してほしい。</p>
	<p>現在の状況では各家庭の経済的負担は益々大きくなっているのが事実である。今後もなお一層の的確な判断に基づく検討を願いたい。</p>

今後の取組	<p>物価上昇を考慮した基準の定期的な見直しを行い、経済情勢に即した柔軟な対応を継続する。学校を通じた保護者への周知を積極的に行い、必要な支援が確実に届くよう努める。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	13
担当課	学校給食センター

事業の情報	事業名	新学校給食センター建設事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	⑩自他の命を大切にする思いやりの心をもった子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】子どもたちに「安全で安心なおいしい給食」を安定して提供するために、衛生管理の整った施設の確保を目的としている。</p> <p>【内容】既存の学校給食センターは、昭和50年築(49年経過)となって、老朽化が進んでいる。そのため、新しい学校給食センターを建設する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】建設工事を安全第一に6月末に竣工する。</p> <p>調理業務等を委託する2学期からの運営に向けて委託会社と連携を密に8月から準備を実施してスムーズに業務を移行する。</p> <p>現調理職員の職場配置は、希望に沿えるように人事課と調整する。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度に工事着手した建設工事は予定工程どおり6月末に事故無く完成した。また、新センター運営として2学期から調理、食器洗浄、施設の清掃及び消毒業務は委託とした。</p> <p>また、業務委託に伴い職場の配置転換となった職員は、人事課と調整し対応をした。</p> <p>【課題】稼働した施設、機器等の設備に係る保守メンテナンスの経費縮減と更新時期設定が課題である。</p> <p>委託とした調理等業務は、軌道に乗るまで日々の業務及び指導状況、実施成果の確認が必要である。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>建設工事も計画通りに完了し、同年度2学期からの本稼働ができたとのことで目標達成と言える。新しくなった施設・設備を十分活用し、安全・安心な給食の提供を進めてほしい。これまでの給食センターが培ってきた保護者や住民の信頼を継続できるよう、委託業者との密な連携や指導を期待したい。また、配置転換後の職員の方々の勤務状況についても配慮願いたい。</p>
	<p>センターの見学スペースから見た限りでは、良好な導線や清潔感が見て取れた。今後、経費の関係もあるがメンテナンス等委託業務に支障がない運営を期待するとともに、保護者などの関係者にも透明感のある広報や説明を丁寧に行っていくことも大切である。</p>

今後の取組	<p>建設工事は計画通りに完了し、2学期から本稼働を行うことができた。</p> <p>今後は、新しくなった施設・設備を十分活用し、安全・安心な給食の提供を進める。</p>
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	14
担当課	学校給食センター

事業の情報	事業名	学校給食運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	⑩自他の命を大切にす思いやりの心をもった子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】子どもたちに「安全で安心なおいしい給食」を提供すること、学校や園と連携して「食育」活動をおこなう。 学校給食地産地消促進事業として数値目標を掲げ、市の予算措置により賄材料の地産地消を推進する。</p> <p>【内容】衛生管理等の徹底により「食中毒」「感染症」「異物混入」の事故を防止する。食物アレルギー対応は小中学校及び幼稚園と連携を図りながら、園児、児童生徒、保護者が安心できるような対応をする。 子どもたちが地域の食文化や産業、食料の生産・流通にあたる人達の努力をより身近に感じられ、心豊かで健康な生活の基礎を養うため、学校給食における地産地消を推進する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】元気な子どもづくりの推進のため「顔が見え、話がでる」市内の生産者によってつくられた農産物を積極的に使用し、季節・旬の食材を提供するために、地場産物の収穫時期に合わせた献立立案を行う。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】地場産物(市内・県内産)を積極的な購入を試みたが、生育状況によりR6年度の学校給食地産地消率(市内産野菜・きのこ類・豆類重量比率目標値35.0%)の実績値は27.30%であった。</p> <p>【課題】市内生産者による新鮮であり、またオーガニック野菜を含めて安全な食材を子どもたちに提供するために、地場産物の収穫時期に合わせた購入と献立立案が必要である。</p>			
		達成度	C	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>地産地消やオーガニック野菜の使用は理想的であるが、近年の異常気象などの影響により、なかなか大変なことであると推察される。そのような中で、子どもたちに安心安全な給食を提供しようという努力を惜しまない姿勢は評価したい。オーガニックビレッジを謳う宇陀市の学校給食として、今後も地元の生産者と連携した取組を進めていただきたい。また、これまでの取組を知る職員を継続配置してくれていることも聞き、安心が深まった。</p>
	<p>地産地消の推進の中で衛生管理を徹底しつつ、安心安全を前面に押し出していくということは、かなりの工夫も必要になってくるのではないかと。アレルギー問題も含め、保護者との連携やその他の関係団体との連携も密に行い、目標を達成してもらいたい。</p>

今後の取組	<p>今年度の運営に引き続き、安全で安心な給食提供を第一にセンター運営をおこなう。 また、地場産物の推進を生産者と連携して取り組む。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方</td> <td>針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方	針
方	針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	15
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教育相談事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	①子育てをサポートする相談体制の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内各学校・幼稚園・こども園・保育園の教員、子ども、保護者からの相談に応じ、学校や家庭の枠組みを超えた子どもへの関わりや指導について助言することを通して、課題解消を図る。</p> <p>【内容】臨床心理士による教育相談であり、必要に応じて子どもの発達検査を行い、保護者にフィードバックし、子どもの個に応じた指導を行う。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】教育相談は専門的知識と経験が必要であるため、引き続き臨床心理士2名の確保に努め、保護者のニーズに答えることのできるよう相談業務の充実を図る。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和6年度において、相談件数340件、発達検査実施件数79件であった。令和5年度中に相談員を1名増員し、相談日を週3回に増やしたことや、令和6年度に利用しやすい場所に移転したことにより、件数の増加につながった。</p> <p>【課題】就学前から専門の相談員に助言を得ることができることから、保護者のニーズは非常に高い。今後も継続して臨床心理士2名を配置し、現在の利用状況を停滞させることなく事業を継続する必要がある。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>必要性や有効性も高いと思う。「宇陀市で子育てしたい。」という声が多く聞かれるようになってきたと聞いている。相談や検査の結果からどのような支援をしていくかといった一連の流れも同時に充実させてきたことが評価されてきたのではないかと考える。関係課が連携し、更なるネットワークの構築を進めてもらいたい。</p> <p>臨床心理士への負担が気になるころではあるが、子どもを取り巻く関係機関との連携を密に行うことが重要であると考えている。子どもの発達や子育てに対する親の悩みは年々増える傾向にある中、宇陀市で子育てができてよかったと言う声が聞こえてくるように尽力願いたい。</p>
------------	---

今後の取組	<p>関係機関と情報を共有し、臨床心理士の負担軽減を図るとともに、今後も臨床心理士の確保に努め、保護者の要望に応えられる相談体制の充実を図る。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	16
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	働く子育て世代の図書館利用の充実事業		
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう	
		Ⅲ基本方針	②就学前教育の充実と子育てや親の学びを支える環境づくり	
事業の目的・内容	<p>【目的】働く子育て世代と子ども達の図書館利用の充実を図る。</p> <p>【内容】0歳から対象のお話を毎月行い図書館にお越しただききっかけと本に触れる機会の提供づくり。絵本作家による「絵本ライブ」や映画会などの開催により親子が共に過ごせるレクリエーションの場を創出する。</p>			

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話し参加者360人 ・映画会50人 ・図書館フェスティバル『各種イベント』と『絵本ライブ』150人
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】お話し会は、中央図書館でNPO法人及びボランティア団体の協力の下に、42回開催し延べ467人の参加。夏休みおたのしみ映画会を大宇陀図書館の1階(研修室)で開催し、47人の参加。祝日の特別開館の行事としてイベントを開催し図書館に来て頂くきっかけ作りをおこなった。図書館フェスティバルでは、各種団体及び宇陀高校生の協力により絵本の読み聞かせやワークショップ、人形劇をおこなった。また、絵本作家による『絵本ライブ』を実施し延べ204人の参加。</p> <p>【課題】お話し会の参加目標人数を達成できたが、開催曜日毎に参加者の差が生じている。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>具体的な数値目標を掲げそれを達成することができている。単に参加者数だけで評価するのではなく、それに関わってくれた団体やボランティアの広がりを大切にしていけること、この取組の今後の広がりが期待できる。図書館が静かに読書するだけの場に留まらず、子育てに関わる場として発展させてもらいたい。</p> <p>参加者も増加してきているため、子育て世代に徐々に浸透してきているのは広報活動の努力の結果であると評価する。ただ働く子育て世代のニーズは多様になっているようであるので、今後も開催方法等のリサーチをしつつ進めていくことが大事ではないかと考える。</p>
------------	---

今後の取組	<p>ボランティア団体の協力を得ながらお話し会やイベントを定期的で開催することで、子育て世代の方々が図書館に足を運びやすい環境づくりを促進する。また、開催曜日の調整、イベントの内容の多様化など、ニーズに寄り添った柔軟な対応を行い、図書館が読書の場だけでなく、「子育て支援の場」や「地域交流の場」として広がりを持つよう進める。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	17
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	子どもフェスタ事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	④主体的に地域に参画する子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】遊び体験を通じて、仲間づくりや参加者同士の交流を深める。遊びの中で記録にチャレンジして達成感を味わい豊かな感性を育むことにより、未来を担う宇陀市の子どもの健全育成を図る。</p> <p>【内容】宇陀市総合体育館内及び体育館前敷地において、昔ながらの遊び(紙ひこうき、ぞうきんがけ競争、空き缶積み、水てっぽう、しゃぼん玉等)や、スポーツ体験、警察車両や消防車両の展示を行い、仲間づくり及び参加者の交流を図る。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】実行委員会において、この「子どもフェスタ」が、子どもたちの貴重な体験の場として心に残るように、また携わるスタッフ側も楽しく達成感を味わえるイベントとなるように進める。</p> <p>暑い時期の開催となるため、屋外コーナだけでなく屋内のコーナーも暑さ対策を強化して事故のないように努める。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】昨年度の反省・要望を反映し、コーナー(ブース)の見直しを行い実施した。特にこれまで体育館屋内トレーニング場で行っていたクラフトコーナーについて、暑さ対策のため地下の格技室に場所を変更した。また、ミニ電車コーナー待合所に日陰用にテントを増設した。</p> <p>昨年度に引き続き、基本的な進め方は、事務局から与えられた物について協力するだけといったものではなく、実行委員が一丸となり準備を進め、みなさまが主になって取り組んでくださった結果、昨年よりも350名多い参加者で盛大に開催することが出来た。</p> <p>【課題】屋内のブースは熱中症対策でエアコンの効く場所に移動したが、屋外のブースは、引き続き熱中症対策について課題が残る。また、スタッフの休憩のためハーフタイムを設けたが整理券を配布の仕事が増えてしまったため休憩時間にならないブースもあった。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>コロナ禍の中止から再開し、2回目の開催となり参加者も増え盛況な結果であったことは喜ばしい。参加者だけでなくスタッフも達成感を味わえるイベントを目指すという目標は素晴らしいが、評価しづらい面があるため具体的な評価方法を工夫してほしい。事故対策については、ボランティアが多い場合は中心となる人員が不明瞭となりやすいので、熱中症以外にも怪我やその他の事故対策も十分に検討してほしい。</p>
	<p>猛暑の中の開催となり、熱中症対策など運営にもかなりの努力が見てとれた。尚且つ従事の方々や参加者に事故がなかったことは評価できる。しかしながら、スタッフ等の休憩が取れるところとそうでないところのばらつきが気になったため、今後の工夫に期待する。</p>

今後の取組	<p>子どもフェスタは、色んな体験ブースがあり、それぞれのブースで主任スタッフが主になって運営することになっている。以前スタッフとして経験した方がブースに居る場合はいいが、経験者が居ないブースは運営方法をあらかじめ周知しておく必要がある。職員がすべてのブースを担当することができないため事前説明会で一般スタッフ等に説明できるようにする。</p> <p>スタッフが休憩時間(ハーフタイム)をとることができるように実行委員会で検討する。</p> <p>熱中症対策については引き続き取り組む必要がある。(テント増設等)</p>
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	18
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	青少年健全育成活動			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑮地域のネットワークを活用した見守り体制の強化		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内の各種団体の代表から構成される宇陀市青少年健全育成協議会及び宇陀市青少年指導員連絡協議会を通して、青少年の健全な育成のための活動を行う。</p> <p>【内容】青少年の社会参加活動の推進、健全な環境づくりと非行防止活動の推進等に取り組む。(市内のイベント開催時の見守り活動協力、街頭啓発活動、県との合同立入調査・巡回啓発指導活動、関係研修会参加等)</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】青少年健全育成活動は、周囲の皆さんの見守りが大切と考える。青少年健全育成協議会を構成する関係団体が連携をとれるように総会等の顔を合わせる機会に交流を深めネットワークづくりをする。
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】・総会終了後、「青少年を取り巻く今の社会情勢について」と題して、奈良県桜井警察署生活安全課 塩見俊介 課長に講演いただき、身近に起こっている青少年に関わる事案について説明いただいた。・11月初日の市内5カ所で実施する街頭啓発。市内の中高生が考えた標語作品を掲載したティッシュを配布し、青少年健全育成の啓発活動を実施した。また、各地域のイベント開催時の見守り活動を行った。・県及び警察と合同で市内コンビニエンスストア等を巡回し、有害図書の販売指導、青少年の非行・被害防止の協力をお願いした。</p> <p>【課題】青少年のほとんどがスマートフォンを所有している。スマートフォンを持つということは犯罪に巻き込まれるリスクがあるということに自覚すること、犯罪に巻き込まれないようにすることと巻き込まれた場合の対応方法を、関係機関と協力して啓発する必要がある。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>青少年健全育成協議会及び青少年指導員連絡協議会等のネットワークづくりを担う事務局として、今後も学校や地域との連携を深め、青少年の非行や被害防止に努めてほしい。どんな組織も経年による世代交代やマンネリ化が生じるため、目標にあるように人と人とのつながりを大切にしたい取り組みを進めていただくよう期待する。</p>
	<p>様々なネットワークづくりや、そのコミュニケーションについても幅広く活動していることは承知しているが、保護者の危機感にもっと訴える事が重要であるため、より一層関係機関との密な連携が必要であると考えます。</p>

今後の取組	<p>ネットワークづくりは、まず対面で会うことが重要と考えるが、総会開催には各種団体の代表が出席いただくことから、総会が単に事業報告や会計決算報告の会にならないように、総会開催時に研修会(講演会等)を開催する等、課題や問題を再認識する機会となるようにする。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方</td> <td>針</td> <td>1</td> </tr> </table>	方	針
方	針	1	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	19
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	子ども活動支援事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑰学校・家庭・地域の連携・協働の推進による教育力の向上		
事業の目的・内容	<p>【目的】地域の方々の力を活かし、地域ぐるみで各小中学校をサポートするボランティア活動を支援する。(学校・地域パートナーシップ事業)</p> <p>【内容】子どもたちが安全で安心な学校生活を送れるよう環境を整える。(学習補助、体験学習、登下校の見守り等)</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】地域の方々の力を借りて、それぞれの学校の課題について取り組む事業である。市内各小中学校において地域の協力体制は様々であるが、より多くの方に協力していただき地域の特性を活かした活動をしていただく。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】市内の小学校6校、中学校4校の全校において、それぞれの学校の特色、地域の実情を活かした取組を実施、学校・地域の課題を解決するための活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域学校協働活動事業：登下校安全指導、学校内環境整備(美化活動) ○放課後子ども教室：地域の郷土学習、文化体験、工作教室等 ○学習補助(地域未来塾)：ボランティアによる学習支援(放課後、夏休み) <p>【課題】学校により事業の内容が様々である。全ての学校で事業を実施できたが、うまく予算を執行されていない学校がある。予算をもう少し有効に活用いただくようにすることが課題である。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>自校の特色や地域の実情を活かした取組を創造している学校があり、この事業の成果を感じる。予算の有効活用ができていない学校(管理職)に対しては、事務局からの指導や適切なアドバイスを通じて有効な取組の実現を目指してほしい。</p> <p>当該活動に対して支援していただく方々には、公平な予算を有効に活用することで士気の高揚も図られるのではないかと考える。また幅広い人材の確保について、偏りのある地域もあるようなので、あらゆる組織の支援が重要ではないかと考える。</p>
------------	--

今後の取組	<p>市内小学校6校、中学校4校で、各学校それぞれの課題を解決するために事業を進めている。他校の実施内容を共有し、事業実施の参考としていくため、年度末に提出される各学校の事業実施報告書をまとめて、各学校に配布する。</p>	方	針	1
-------	---	---	---	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	20
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	通級指導教室運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑩一人一人の違いを尊重するインクルーシブ教育の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】小中学校の通常学級に在籍しているが、言語障害や学習障害、ADHD等により学習面や生活面で困難のある児童生徒が、自立した学校生活や社会生活を送れるようにすることを目的とする。</p> <p>【内容】担任以外の専門指導教員が個に応じた指導を行う。また、保護者、教職員、児童生徒に対しても相談業務を行う。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】増加する対象児童生徒の支援に対応するため、小学校で新たにもう一校の開設を目指す。それに伴い、引き続き指導者の育成及び県費の指導教員の増員要望を行い、通級指導教室の更なる充実を図る。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】令和6年度は新たに菟田野小学校に「ほほえみ教室」を設置し、榛原小学校、榛原東小学校、榛原中学校「ひだまり教室」と併せて4教室開設することができ、小学生86名、中学生45名が通級指導を受けることができた。また、県費指導教員を令和5年度の4名から6名に増員することもできた。					
		【課題】通級指導を受ける児童生徒数の増加に伴い、引き続き県費の指導教員の増員要望と指導者の専門性の確保が必要である。					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	市内の1小学校にしかなかった通級教室が中学校に設置され、他の小学校へと広がり、更に学級数を増やしていくという素晴らしい取組になっている。先人の努力の上に花開いていると思うが、今後も取組の正しさをしっかりと示してほしい。
	保護者の理解を得て通級を選択する児童生徒の増加もみられる中、今後も年々通級指導を受ける子どもの数が増加していくことが予想されるため、今回の4教室開設ということについては評価できる。今後も引き続き、指導員の確保と指導の質の向上に尽力願いたい。

今後の取組	継続して指導員の確保に努め、研修や事例報告等を通じて指導の質の向上を目指すことで、教室運営を充実させ、児童生徒の増加に対応できる環境整備を促進する。
	方 針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	21
担当課	文化会館

事業の情報	事業名	文化会館管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳生涯を通じた多様な学びの場の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】芸術・文化活動の振興拠点としての活性化をめざして、市民の文化・芸術の向上に寄与することをめざすと同時に生涯学習の充実を図る。</p> <p>【内容】貸館業務のみならず、地域の文化・芸術の中心をなす施設としての事業やイベントを開催することで、多様化した文化・生涯学習ニーズへの対応と文化・芸術の向上をめざす。これらの事業開催をきっかけに、来館する機会が少なかった市民にも文化会館の認知度向上を図る。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】年間来館者数、18000人を目指す 自主事業(公演等)を行い、会館施設認知度をあげる。 来館者に幅広くアンケートを行い、利用者満足度を向上する。</p>
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】年間来館者数(利用者)15783人、目標達成としては、87.6%であり目標達成に至らなかった。子ども向け映画会を開催し、259人が自主事業により来館した。子育て世代からも意見がとれた。</p> <p>【課題】慣例でイベント開催をしていた市内利用者が、高齢化してきており、イベント行事の継続性が難しくなっている。当方により新たなイベントや行事を企画する必要があると考える。</p>			
		達成度	B	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>少ない職員で自主事業を企画するなど目標達成のための努力をされており、来館者数は目標に達していても、利用の満足度は高いのではないかとと思われる。市当局だけでなく市内の各種団体が積極的に活用し、市民生活の充実につなげてほしい。</p> <p>特に宇陀市民の文化交流の拠点となっているが、老朽化の問題との共存の中での維持運営に、創意工夫を強いられていることは現実問題である。既存の定期コンサートや催しに加えてのイベントが必要であるのは確かだが、予算の関係も踏まえながらも専門家の導入での立て直しを考えてみてはどうか。</p>
------------	--

今後の取組	<p>サービス向上を図る為、利用者の声を多く取り入れ、その内容により、良いサービス提供を提供できるようにしていく。また、舞台運営や自主事業等の運営については、専門家の関与も含めて、今後検討を重ねていきたい。</p>	方針	3
-------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	22
担当課	文化会館

事業の情報	事業名	文化会館大規模改修事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳生涯を通じた多様な学びの場の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】老朽化が進む築35年を経過する当該施設において、長寿命化に対応する大規模修繕により、施設の安全安心な運営と利用者の快適な施設利用を目指す。</p> <p>【内容】令和5年度から計画推進を遂行してきたスポーツ施設等個別施設計画に基づき建物の長寿命化に向けた改修を行うことを、令和6年度FM検討会議において、当該施設の大規模改修の計画推進が見込まれことにより、改修事業計画の策定を進める。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】効率的な改修計画(期間、時期)及び効果的な経費(工事費)を構成できるよう情報を収集し整理する。
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】それぞれの専門業者(電気設備、ホール設計、冷暖房設備、屋根、壁)から、当館の状況把握や持続性について情報収集を行い、令和7年度に行う調査業務の基礎構成の確立ができた。</p> <p>【課題】規模、工期についての状況把握は出来なかった。調査業務の中で、その点を盛り込み、工期の縮小及び閉館時期の短縮を見出したい。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>市内にこのような充実した会館はないので必要性は高いが維持管理は大変だと思われる。市として大規模改修の方向性が出ているとのことであるが、単なる改修ではなく、今後の活用の幅を広げるようなものであってほしいので、是非住民のニーズも吸い上げてほしい。</p>
	<p>綿密な工事計画が必要であるが予算とのバランスが何よりの課題になることは周知の事実である。「情報を収集し整理する」という目標であるが、幅広い業者や専門家はもちろん、市民にも改修の重要性と必要性を根気強く訴えていく事で、何かが掴めてくる可能性もあるということを視野に入れておいていただきたい。</p>

今後の取組	<p>施設の長寿命化に関して、工法や手法に関しては、設計専門家の意見をふまえて進めていきたい。その他、ご指摘のあった利用者のニーズにあった改善ということで、市民や利用者からの意見を多く収集して、ニーズが反映できる改修をめざしていきたい。</p>	方針	3
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	23
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	公民館管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳生涯を通じた多様な学びの場の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市民一人一人が、心豊かに健康で生きがいのある人生を過ごすために、生涯にわたって主体的に学習を継続することが求められていることを踏まえ、生きる喜びを分かち合える公民館管理運営の構築を目指す。また、地域課題や市民のニーズに即した学習機会の提供を図るとともに、地域に根ざした公民館活動を推進する。</p> <p>【内容】身近な学習や文化活動が、誰でも気軽にできるような環境整備に努める。また、文化的活動の機会や地域住民と公民館活動をつなぐ情報提供に努めるとともに、各種団体と協力・連携し地域の教育・文化の振興を図る拠点とする。自主グループの育成を推進し、各分館の施設利用率の増加を図る。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】公民館活動自主グループの日頃の成果発表の場として「公民館まつり」を開催することにより、自主グループの更なる育成を図るとともに、引き続き市民に対して広く公民館活動をPRしていく。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】「公民館まつり」を開催することにより、公民館活動自主グループ40団体の更なる育成を図ることができ、また、まつり当日に352名の来場者があり、市民に対して広く公民館活動内容をPRすることができた。					
		【課題】市民がいつでもどこでも誰でも学べる機会と場の提供のため、公民館の必要性は高く、さらなる施設の環境整備に努める。また、今後も公民館活動自主グループの育成や公民館まつりの開催等により、多様なニーズに応じた公民館管理運営に努める。					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	公民館活動により自主活動グループが誕生し、その成果を発表するための「公民館まつり」が開催され、参加者も増えているというプラスの循環が見られる。今後の課題として示されているように、市民がいつでも学べる機会を提供するための公民館活動の継続発展に努めていただきたい。
	公民館まつりは、年々徐々に盛り上がっていることは評価すべきことである。自主活動グループの活動が活発になれば、それに伴い人の流れも多くなることから、これからの活動に期待する。

今後の取組	今後も「公民館まつり」を継続して開催することにより、市民に対して広く公民館活動をPRしていきたい。市民がいつでも学ぶことができる施設の環境整備、特に自主グループを育成してその活動を活発化させることにより、多様なニーズに応じた公民館管理運営、公民館活動の継続発展に努めていきたい。
	方 針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	24
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	各種講座・教室事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳生涯を通じた多様な学びの場の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】社会教育法に基づき、市民のために実生活に即した教育・学術・文化に関する各種の講座・教室を行い、市民の教養向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p> <p>【内容】市民のニーズに合った講座・教室の充実を図り、自主グループ・リーダーの養成とまちづくり・まちおこしなど地域社会参加の促進を図る。「定期講座」は各分館にて開催し、初歩から応用までを学習する。「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」については、中央公民館・各分館を会場とし、知識の向上、趣味の輪の拡大、健康の保持や生きがいづくりを目指した講座・教室を開設する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】各種講座・教室の中でも特に「定期講座」については、それぞれの内容や受講者の雰囲気なども考慮して、1つでも多く自主グループ活動へ移行(リーダーの養成)出来るよう努力する。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】受講者は年々減少傾向にあるが、受講率については「定期講座」、「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」いずれも前年度を上回った。また、「定期講座」8講座の内1講座を自主グループへ移行出来た。</p> <p>【課題】今後も関係部局と協力して、幅広い年齢の人たちに親しまってもらえるような、又、より多くの人たちに受講してもらえるような講座・教室を考えて、市民に提供していきたい。ただ、令和6年度実施出来なかったうだチャン公民館講座(市民教養講座)については、企画・立案や関係者(機関)との調整に課題を残した。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>目標に掲げた定期講座の自主グループへの移行が実現したり、各講座の受講率が向上していることなどから、関係者の企画運営に対する工夫や努力が窺える。今後は、今年度課題となった講座の開催にも努力願いたい。</p> <p>各講座の講師やリーダーを幅広く養成することが理想である。また、講座内容については、様々なニーズがあるため、誰もが利用しやすい窓口を設置し、それを広報することなどにより市民の声を集めることで、この取組に広がりが出るのではないか。</p>
------------	--

今後の取組	<p>各種講座の運営、とりわけ「定期講座」については、それぞれの内容や受講者の雰囲気なども考慮して、1つでも多く自主グループ活動へ移行(リーダーの養成)できるよう努力したい。また、単発的な講座についても、それぞれの内容や受講者の雰囲気なども考慮して、「定期講座」へ移行できるものがあるかどうかを検証していきたい。</p> <p>外出するのが難しい市民のために、また、講座・教室を映像資料として後世に残していくために、「うだチャン公民館講座」を継続して実施していく予定である。</p>	方	針	2
-------	---	---	---	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	25
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	社会教育推進講座事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑩生涯を通じた多様な学びの場の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】社会教育の推進及び公民館と地域のつながりを深めるため、市内各地域のまちづくり協議会が事業を実施し、地域の課題に取り組むとともに、地域の活性化につなげる。</p> <p>【内容】地域の課題を解決するために開催する講座や、研修会等に講師の紹介あるいは講師を派遣し、予算の範囲内において講師派遣の費用を支援する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】政策推進課、各地域まちづくりアドバイザーとの連携を更に強化して、且つ、広報紙やホームページを活用して市内全まちづくり協議会へ周知し適切な支援をしていく。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】政策推進課、各地域まちづくりアドバイザーとの連携により、令和6年度実績は、参加まち協5団体計7事業実施、延べ人数228名の参加であった。					
		【課題】令和6年度は全まちづくり協議会22団体中5団体7事業の実施にとどまったため、令和6年度に出来なかった広報紙やホームページ掲載により、市内の全まちづくり協議会が本事業を実施していただけるよう支援していく。					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>本事業の活用実績が低調なのは周知不足だけでなく、具体的な活用方法や手続きに関する理解不足もあると思われる。広報紙やホームページ掲載に加え、各団体の個別状況に合わせた助言等も引き続きお願いしたい。</p> <p>社会教育推進は、まちづくり協議会との連携が大きなものになっている。地域によってそれぞれ特徴があり、その活動内容は様々ではあるが、その活動の状況に見合った予算確保などの支援を願いたい。</p>
------------	---

今後の取組	<p>社会教育推進講座は地域の課題とつながる取組を行える事業と考えている。</p> <p>市民協働課、各地域まちづくりアドバイザーとの連携を更に強化して、市内全まちづくり協議会に的確な支援が出来るよう準備したい。また、広報紙やホームページを活用して市内全まちづくり協議会に周知していくことに加えて、直接各まちづくり協議会の会合等に出向いて、事業の趣旨や具体的な活用方法、手続きのしかたなど詳細について説明する機会を持ちたい。</p>
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	26
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	自主学習スペース管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳生涯を通じた多様な学びの場の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】利用者が落ち着いた環境で学習するための空間を提供し、生涯学習環境の充実を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】宇陀市内に自主学習スペースが無かったことから、令和6年度に榛原総合センター3階に設置した、子どもから大人まで自由に自主学習できるスペースの利用促進を図る。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】利用者が落ち着いた環境で学習するための空間を提供し、広く子どもから大人まで自由に学習ができる自主学習スペースの開放を目指す。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和6年4月末にオープンした榛原総合センター3階自主学習スペースについて、初年度の利用延べ人数は5996名であった。</p> <p>【課題】令和6年度末に実施したアンケート調査の結果も考慮して、今後も幅広い年齢の人たちに、又、より多くの人たちに利用してもらえるような自主学習スペースを市民に提供していきたい。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>新規事業であるため単純に判断できないが、延べ6,000人が利用したということは、必要性や有効性が高いといえるのではないかと。アンケートの取り方を工夫し、実際の利用者の人数や年齢層、地域性等を考慮しながら更に広報に努めてほしい。また、図書館とも連携し、利用しやすい環境を整えてほしい。</p>
	<p>子ども達を中心に、幅広い年齢層の利用スペースとして充実したものになっていることに高い評価が出来る。今後、多種多様な人たちが自由に気軽に利用できるよう、更に知ってもらう必要があるため、広報活動等にご尽力いただきたい。</p>

今後の取組	<p>定期的にアンケート調査を実施しその結果を十分に考慮して、今後も幅広い年齢の人たち、又、より多くの人たちが利用しやすいスペースとなるよう環境整備に努めたい。</p> <p>市民に更に知ってもらう必要があるため、広報紙やホームページ、うだチャンネルなどを通して、広報活動を充実させていきたい。</p>
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	27
担当課	生涯学習課

事業の 情報	事業名	市美術展事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進		
事業の 目的・内容	<p>【目的】文化・芸術活動をする市民の創作活動の成果を発表できる場所を提供し、入賞を目標としてもらい、創作意欲の向上につなげると共に、市民が文化・芸術を身近に触れることができる機会を提供する。</p> <p>【内容】市展では、4部門(絵画の部、書芸の部、写真の部、彫塑工芸の部)を募集する。併せて、気軽に出展できる「スマホフォトコンテスト」を実施し、市民が文化・芸術に関わるきっかけをつくる。</p>				

事業の 目標	令和6年度の 目標	【目標】市内の文化・芸術活動団体と協力して、出展数を増やし市民の文化・芸術活動を活性化する。
-----------	--------------	--

担当課 による 自己 評価	成果・課題	<p>【成果】11月14日～11月17日の4日間、市文化会館で開催し、応募作品数90点、約457人の観覧があった。スマホフォトコンテストは29点の応募があった。応募作品数は前年度より減少した。会場に来ることが出来なかった方のために、自主放送うだチャンネル11「ホットニュース」で放送した。</p> <p>【課題】出品数をどのようにして増やすかが課題であるが、この美術展覧会に出品したいと思ってもらえるような「美術展覧会」とすることが重要である。</p> <p>また、展示する場所(部屋)が区切られているため、展示場所がわかりづらい部門があった。1階と2階に展示をしているので、順路をわかりやすくすることが課題である。</p>			
		達成度	B	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 支援 員の 意見	<p>美術展覧会という一般の方はなかなか出品しづらいと思うが、優れた作品を鑑賞し楽しむということであれば気軽にできるため、出展数にはあまりこだわらず来場者を増やす工夫に期待したい。素晴らしい作品で展示スペースが狭くなるくらいなら現在の出展数でも十分ではないか。また、うだチャンネルの「ホットニュース」の利用などは継続してほしい。</p>
	<p>スマートフォンによるフォトコンテストの開催により、以前に比べ参加者の広がりが出てきているように思う。今後、展示スペース等の関係もあると思うが、作品の展示方法にマネジメントを加えて工夫することで、面白みも出てくるのではないかと思う。</p>

今後 の 取組	市美術展覧会開催と同時に幼児の絵作品展、文化会館教室事業作品展、図書を使った調べる学習コンクール作品展を同時開催しているが、市展の展示スペースを分かりやすくし、他の展示と混ざってしまわないように、展示場所(区画割)を工夫する。
	方 針 2

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	28
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	宇陀シティマラソン事業		
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう	
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進	
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の豊かな自然の中で、心身の健康維持を目的とし、「走ろう宇陀!ふれあう心」をスローガンに宇陀シティマラソンを開催し、市民の健康増進、宇陀市のPRにつなげる。</p> <p>【内容】市役所をメイン会場として、周辺コースを設定しファミリー(1km)、2km、3km、10kmのコースを設定し、市内外から参加者を募って開催する。 令和6年度は、これまで新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催のため開催を見送っていた10kmコースを復活して実施させる。</p>			

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】中止していた10km部門を復活させる。
-------	----------	-------------------------

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小(10kmコースなし)していたが、今回は従来の10kmコースからコースを変更して、新しいコースで10kmの部を復活開催することが出来た。地元の方々のご理解とご協力を得て、無事終了することが出来た。また、ゲストランナーを迎え、前日にランニング教室を開催(参加者約40名)。当日はファミリーコースで出走いただいた。</p> <p>ランナーエントリー1112名、前日、当日のボランティアスタッフのべ約460名。</p> <p>【課題】運営体制(ボランティアの確保等)を見据え、安全・安心に開催できるよう実行委員会で協議をして、コース設定を検討する必要がある。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	「市民の健康維持」という観点で考えると単に参加者数の増加で良いが、「宇陀市のPR」という観点からは市外からの参加者数が重要になる。そのためには、市外参加者の多い10km部門の復活が必須であり、目標設定は妥当である。復活に当たっては準備等で苦労があったと思われるが、新しいコースでの目標達成及び参加者数の増加は素晴らしい。今後の課題として、安全な開催に向けて努力を願いたい。
	市外からの参加者も多く、宇陀市のPRにもなるイベントとして定着しており素晴らしい。その分、運営側としてはかなりの労力が必要となってくることは必須であるが、今後もスタッフやボランティアの確保に努め、安全安心なイベントとして開催できることを願う。

今後の取組	令和7年度(R8.3.8)は、市制20周年を記念してハーフマラソンの部を開催する。近畿高等学校駅伝競走大会のコースを使用したハーフマラソンになる。今までのシティマラソンよりも距離が延びることになり、これまで以上の人数と周辺のみなさまの協力が必要になる。コース上にある自治会への依頼・説明を実施して、協力いただけるよう進めていく。
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	29
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	市民スポーツ大会事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】この市民スポーツ大会を通じて、広く市民にスポーツ活動を行う機会を提供し、心の健康・体力の増進・競技力の向上を目指し、生涯を通じたスポーツ活動の振興を図る。</p> <p>【内容】市スポーツ協会が中心となり、19種目ある競技ごとにスポーツ大会を開催する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】スポーツ競技人口を増やすため、各競技団体から情報を得てホームページ等で情報発信を行う。
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】4月号広報紙で市民スポーツ大会の参加者募集を掲載し、主催している各競技連盟・協会から大会結果の報告を受け、8月号広報誌に結果を掲載した。</p> <p>【課題】各大会が安全に開催され無事に終了することが重要。近年、熱中症や落雷にも注意が必要である。危険な場合、連盟・協会が無理に大会を続行することのないように、安全管理を徹底することが課題。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>市内でいろいろなスポーツ活動をしている方々にとって、市民スポーツ大会は日頃の成果を発揮するための場として重要であると思うので、今後も粛々と継続して行っていただきたい。参加者募集や大会報告等を広報紙だけでなく、Webページを活用することも進めてもらいたい。また、昨今の異常気象への対応(熱中症、落雷等)や安全面での救急体制整備や注意喚起等も事務局として整えてほしい。</p>
	<p>スポーツ大会は、様々なスポーツを趣味として親しみ、楽しんでいる人たちのお披露目の場であり、日頃の成果を発揮し、競い合いを楽しむものであると考えられる。協会に対しての日頃のサポートや運営についての指導など事務局として必要なことを今後も継続して進めてもらいたい。</p>

今後の取組	<p>大会参加者募集について、市のホームページ等も活用し広報していく。 各競技部による市民スポーツ大会の開催になるが、大会物品を配布する機会や文書案内する際に、事故・怪我の発生することがないように周知する。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方</td> <td>針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方	針
方	針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	30
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の豊かな自然の中で、起伏のあるロードレースに適した道路を用い、近畿各府県から高等学校自転車競技選手を招き、宇陀市のPRにつなげる。</p> <p>【内容】近隣住民他、各関係機関の協力を得て、宇陀市農林会館をスタート、ゴールとする周回コース(1周6.7km 男子:12周 女子:1周)によりロードレースを開催する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】今年度の大会で宇陀市での開催は終了する。宇陀市での最後の大会も事故・ケガの無いように、各団体と協力して進める。
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】関係機関の協力のもと、近畿2府4県の高等学校から30校、88名が出場し、無事に開催できた。</p> <p>【課題】宇陀市での開催は10回目となり、次年度は兵庫県での開催となる。 宇陀市で開催する最終の大会となった。10年間という長期間開催して、地域の協力体制も定着して来た。このロードレースへの協力は終了するが、今後も宇陀シティマラソンや令和13年の国民スポーツ大会の開催が決まっている。これらの行事は地域のみなさんの協力無しでは運営することは困難である。ロードレースを通じて出来上がった協力体制を継続していくことが課題である。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>地域住民や関係機関との連携・協力のもと、10年にわたり近畿大会を誘致できたことは大きな成果である。最後の大会も事故なく無事に開催できたことも素晴らしい。この経験が更に新しい取組となって継続発展することを期待したい。</p>
	<p>大会が10年間無事に終えられたことは大きな成果と評価する。今後はコースの変更はあるものの駅伝大会の誘致により、今まで以上の宇陀市のPRや市民のマラソンへの関心を集める為の広報啓発に努力されることを期待する。</p>

今後の取組	<p>この事業は、各種協力団体、市民のみなさまの協力を得て10年間開催し、次の開催地に移った。このロードレースの開催は終了したが、宇陀市では、今後近畿高等学校駅伝競走大会(R7、R8、R9)、高校総体ハンドボール(R8)、国民スポーツ大会(R13※前年R12にリハーサル大会)が予定されており、中でも国民スポーツ大会の自転車競技ロードレースの会場となっている。近畿高等学校自転車ロードレースの経験等を活かし関係機関と協力し準備を進めていきたい。</p>
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	31
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	総合体育館・総合運動場運営事業		
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう	
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進	
事業の目的・内容	<p>【目的】体育施設の整備充実と健全な管理運営に努め、利用促進を図る。</p> <p>【内容】市民のスポーツとレクリエーションの振興を図るとともに健康増進を推進し、体育館・運動場の効率的な管理運営を行い、安全で快適な利用が出来るように努める。</p>			

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】意見箱やアンケートを設置し、直接利用者からの声を聞かせていただき、満足度の高い施設運営に取り組む。
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】意見箱に書かれている要望等を可能な範囲で早期改善したことにより利用者から喜びの声が寄せられた。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>体育館利用件数</td> <td>1,389件</td> <td>1,484件</td> <td>95件</td> </tr> <tr> <td>運動場利用件数</td> <td>132件</td> <td>126件</td> <td>▲6件</td> </tr> </table> <p>【課題】大規模改修に向けて市民の要望や意見を聴取し事前調査を進めていく。</p>					令和5年度	令和6年度	増減	体育館利用件数	1,389件	1,484件	95件	運動場利用件数	132件	126件	▲6件
			令和5年度	令和6年度	増減												
体育館利用件数	1,389件	1,484件	95件														
運動場利用件数	132件	126件	▲6件														
		達成度	A	必要性	A	有効性	A										

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>市内外の多くの人に利用される重要な施設であり、必要性や有効性は高い。社会の要請や環境の変化に対応した施設として運営していくため、常に利用者の声や要望に耳を傾け、改善できることには早急に取り組むという姿勢は素晴らしい。そうした情報の収集が今後の大規模改修に活かされることを望む。</p>
	<p>総合体育館は、県外の人達も幅広く利用している施設になっており、もちろんスポーツ大会の開催には欠かせない場所となっている。大規模改修に向けて有意義な計画などを期待するが、その過程で今までの流れが途切れることのないよう願っている。</p>

今後の取組	<p>市内外及び県外の人達に幅広く利用される重要な施設であることから、施設運営していくうえで常に利用者の声や要望に耳を傾け、満足度の高い施設運営に取り組む。</p> <p>また、利用者からの情報収集を大規模改修に活かしていきたい。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	32
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	室内温水プール・テニスコート管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】水泳やテニスを通してスポーツ振興と健康増進を図り、効率的な管理運営により利用者が継続的に利用できる施設の提供。</p> <p>【内容】市民のスポーツとレクリエーションの振興を図り、健康増進を推進し、室内温水プール及びテニスコートの効率的な管理運営を行い、安全で快適な利用が出来るように努める。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】適切な施設運営により、利用者が事故無く継続利用出来る場所を提供する。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】安全で快適な利用ができるよう、施設・設備の老朽化に対応する修繕等の施設整備と効率的な管理・運営を行った。令和6年度には、事故は発生しなかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール利用者数</td> <td>26,353人</td> <td>28,681人</td> <td>32,442人</td> <td>31,546人</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>テニス利用者数</td> <td>4,681人</td> <td>4,650人</td> <td>4,710人</td> <td>4,304人</td> <td>92%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】温水プールの老朽化が進んでいるため、対策を検討していく必要がある。</p>						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率	プール利用者数	26,353人	28,681人	32,442人	31,546人	98%	テニス利用者数	4,681人	4,650人	4,710人	4,304人	92%
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率																	
		プール利用者数	26,353人	28,681人	32,442人	31,546人	98%																	
テニス利用者数	4,681人	4,650人	4,710人	4,304人	92%																			
達成度	A	必要性	A	有効性	A																			

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>市民が使える唯一のプールであり、小中学校の水泳学習を支える施設でもあるため、必要性や有効性は高く、安全に使えるよう施設運営に努めてくれていることは有り難い。ただ、過去にも老朽化による崩落等が起こっているため、課題にも挙がっている改修に向けた取り組みを進めていく必要があると考える。利用者や市民の声を吸い上げ、今後の活用に向けた方向性を探るための資料づくりを進めてもらいたい。</p>
	<p>温水プールは貴重な施設であり、これからも市民等の健康増進を図るためにも大変必要な施設である。老朽化は不可避であるため、先を見越した計画を立てつつ、利用者の安全を念頭に改修を進めてもらいたい。</p>

今後の取組	利用者が安全に事故なく施設利用できるよう、修繕等の施設整備と効率的な管理・運営を行う。		
	<table border="1"> <tr> <td>方</td> <td>針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方	針
方	針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	33
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	夏休み小学生水泳教室事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】水泳技能を学び、水泳の楽しさを知ることや基礎体力の向上、健康づくりの推進を図る。</p> <p>【内容】市内の小学校2、3年生を対象に、水泳を通してスポーツの楽しさを知り、生涯にわたりスポーツに親しむことを目的として、夏休み2日間にわたり水泳専門講師によって授業を行う。また、防災の観点から自分の身は自分で守るという意識をもち水泳に取り組む。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】より多くの子どもたちに、水泳の楽しさを知ってもらい体力向上、健康な体づくりをめざして取り組んでいく。また、水泳教室を他校と合同で実施することにより親睦を深めてもらう。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】6校ある小学校を2校ずつ合同で実施したことにより他校との交流で親睦も深まった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>増減率</td> </tr> <tr> <td>水泳教室生徒数</td> <td>実施せず</td> <td>110人</td> <td>131人</td> <td>52人</td> <td>39.6%</td> </tr> </table> <p>【課題】子どもたちの目が届く周知方法により、参加者の増加を図る必要がある。</p>					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率	水泳教室生徒数	実施せず	110人	131人	52人	39.6%
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率											
水泳教室生徒数	実施せず	110人	131人	52人	39.6%												
		達成度	A	必要性	A	有効性	A										

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>夏休みにプール水泳ができる機会が少なくなっている現状があり、少しでも水に親しむ機会を作ってくれることは有意義である。また、合同で実施することにより、他校の友達との交流も深まるのも良いと思う。ただ、参加者が激減しているので、実施方法の見直しも必要かと考える。</p> <p>昨今の気象状況で夏休みにプールを避ける傾向がある中で、この水泳教室は室内で行うことができるという利点を前面に出す広報など、募集方法に工夫が必要ではないかと考える。併せて、各家庭の保護者に対して、命を守るために水泳の技術を身につけることの大切さを愚直に呼びかけていくことも必要ではないかと考える。</p>
------------	--

今後の取組	<p>より多くの子どもたちに、水泳の楽しさを知ってもらい体力向上、健康な体づくりをめざして取り組んでいく。また、命を守るために水泳の技術を身につけることの大切さを一人でも多くの子どもたちや保護者に伝えるよう広報活動を行う。</p>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>方</td> <td>針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方	針
方	針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	34
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	水泳教室事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進
事業の目的・内容	<p>【目的】ジュニアにおいては、水泳の基礎技能を学び、スポーツの基礎体力をつける。また、成人は水に親しみ、水泳の楽しさを知り、健康増進を図る。</p> <p>【内容】水泳教室を専門業者に業務委託し、一年を通して専門講師から、能力に合わせた技能を習得する。 水泳教室(幼児・児童・生徒コース、選手コース、成人コース)</p>		

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】ジュニアについては、水泳の基礎技能を学びながら、2ヶ月に1回の進級テストを通じて目標達成の喜びを感じてもらう。成人については、スイミングは全身運動でありながら関節への負担が少ないため年齢にかかわらず継続的に運動してもらう。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】各々が目標を持ち、それを達成することにより水泳の楽しさや喜びを感じる事が出来た。また、成人においては、水に親しみ、水泳の楽しさを知ってもらい、健康づくりに貢献した。</p> <p style="text-align: center;">令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 増減率</p> <p style="text-align: center;">水泳教室生徒数 318人 291人 307人 308人 100.3%</p>			
		<p>【課題】成人コースの受講生はほぼ高齢者のため、多世代の受講生の参加が得られるような対策が必要である。</p>			
	達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>市民が水泳に親しむことのできる環境があり、水泳の技能を高めるための教室があるということは自然な流れで、各年代に応じた教室が開催されていることは有り難い。今後も、施設を有効活用し、市民の健康増進の一助となる本事業を継続してほしい。</p>
	<p>幅広い市民が水泳の楽しさを体験し、健康増進を図るためにも大切な事業である。指導者により年齢や個人差に応じた指導を受けられることが魅力であるため、広報媒体を活用し、より広く知ってもらえるよう努力したい。</p>

今後の取組	<p>水泳の楽しさを知り、健康増進を図るため多世代の方に運動をして頂くため水泳教室の広報活動を幅広く行っていく。</p>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>方</td> <td>針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方	針
方	針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	35
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】駅伝の楽しさを知り、学校の枠を越えて子どもたちの仲間意識や人を思いやる心を育てる。</p> <p>【内容】長距離走を通して子どもたちの体力向上と健全育成を図るとともに、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、豊かな人間性を作る。</p> <p>各小学校5、6年生に希望者を募り、駅伝練習を3カ月間行った後、「奈良県市町村対抗子ども駅伝大会」に参加する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】基礎体力や仲間意識、連帯感を養い県大会に向けて練習を行う。
-------	----------	-----------------------------------

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】大会に向けて男子8人、女子7人計15人の参加で、12月から3月まで毎週土日に練習を行った。大会結果は、駅伝の部で36チーム中12位、タイムトライアルで男子の部12位、女子の部17位の成績となった。昨年よりタイムが上回ったことによりステップアップ賞をいただいた。</p> <p>選手に選ばれなかった子も大会当日は全員参加で応援に回りチーム一丸となり大会を盛り上げることが出来た。また、選手以外の子からも「他校との友達もでき参加してよかったです」と声をもらった。</p> <p>【課題】競争目的だけでなく、体力向上、他校との交流での仲間づくりなど多様な目的で参加できるように募集方法を検討する必要がある。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>県の事業への参加者を募り、共に練習するために始まった事業であるが、当然参加できる人数に限りがあり、練習に参加して頑張っても大会には出場できない子どもも出てくる。そのような状況でも、参加者が仲間意識や連帯感を高め、選手になれなかった子も一緒に応援できるようになっていることは素晴らしい。課題に掲げてくれているように、様々な目的をもって参加できる子どもが増え、走ることの楽しさを味わえる子どもが増える事業として展開されることを期待する。</p> <p>普段から走ることが得意であり、陸上や駅伝と言うものに興味がある子どもたちにとっては意義のある大会である。市内各小学校の児童の集まりがただ駅伝をするだけでなく、あくまでも本来の体力育成を基本としつつ、仲間意識の醸成を育める指導を願いたい。</p>
------------	---

今後の取組	<p>今後も、駅伝大会の参加者を募り、集まった仲間で大会に向けて練習をしていく。</p> <p>ただ単に練習をするのではなく、仲間意識や連帯感を養う。また選手になれた子、なれなかった子も一つのチームで最後まで一緒に頑張った、参加して本当に良かったと思えるチーム作りをしていきたい。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	36
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	大人のための運動教室事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きがいをもって暮らせるウェルネスシティの推進
事業の目的・内容	<p>【目的】ウェルネスシティ宇陀市構想に基づき、中高年の健康増進、体力維持、疾病予防等を目的とした運動教室を通じて、コミュニケーションを深めながら、心身の健康づくりに寄与する。</p> <p>【内容】室内温水プール及び総合体育館内の施設を利用した継続型の運動教室の開催をする。(筋力体力アップ体操・エアロビクス・ピラティス・ヨガ・膝腰改善ウォーキング)</p>		

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】新規受講生を増やすよう広報活動を行う。
-------	----------	-------------------------

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】広報、ホームページ、運動いろはの掲載、館内掲示等で広報活動を幅広く行った結果、新規申込者が5教室で合計34人となった。</p> <p>令和6年度の新規申込者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋力体力アップ体操 5人 ・エアロビクス 2人 ・ピラティス 12人 ・ヨガ 11人 ・膝腰改善ウォーキング 4人 <p>【課題】現受講生の継続及び更なる新規受講生が参加してもらえる対策が必要。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>参加者が固定している気がするが、広報活動を行うことにより新規参加者が増えたというのは成果であり、市民の健康増進に対する意識の高まりを感じる。今後も様々な方法で広報に努めてほしい。今後は、施設の改修時期に併せて自由に使える運動器具の設置を充実させるなど、多様な運動ニーズに応える取組を期待したい。</p>
	<p>普段自分では運動を続けることができないような高齢者の方々の参加が多いということは、健康に長生きをするといった健康意識の向上を感じる。気軽に誘い合って参加することができる環境作りが必要であり、各種の集まりなどに対しピンポイントに繰り返し広報していくことも大事であると考えている。</p>

今後の取組	<p>ウェルネスシティ宇陀市構想に基づき、中高年の健康増進、体力維持、疾病予防等を目的とした運動教室を開催することにより、継続的に運動をする事が出来る。</p> <p>今後も多様な運動ニーズに応える取組をしていき、たくさんの新規申込をして頂けるよう広報活動を行う。</p>
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	37
------	----

事業の情報	事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業		担当課	文化財課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】平成18年に国から選定された宇陀松山地区の重要伝統的建造物群保存地区について補助事業を行い、歴史的な町なみの景観を維持・向上を図る。</p> <p>【内容】歴史的な町なみの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理とそれ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行う。現在、伝建地区の防災計画改定のため耐震対策の調査を行っており、防災計画の改定に取り組む。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】町なみの景観を維持・向上を図るために、重伝建地区にて伝統的建造物の修理とそれ以外の建物の修景事業に対して、予算の範囲内において、補助事業を行う。また昨年度に引き続き、大学と連携した耐震対策の取組を実施する。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和6年度は6件(修理5件、修景1件)の改修を実施した。また、防災計画改定のため、松山地区において耐震診断行い、補強工法を検討した。令和6年度は、大阪工業大学、大阪公立大学、奈良女子大学との協働事業をより発展させ、伝建地区内の実際の建物で、耐震補強の実地を行い施工時の課題やより地区に適した活用方法を検討した。</p> <p>【課題】伝統的建造物は一般住宅より費用負担が増えることが多く、補助や支援制度を確立する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>伝統的建造物の保存や修理は所有者個人に大きな負担となるものであるため、補助がないと実施できない。また、修理にかかる費用も多くなると思われるので、大学との協働により効果的な耐震対策を推し進めていただきたい。</p>
	<p>重要伝統的建造物は、火災などのあらゆる災害への防災面や、その保存維持が所有者の負担となっている。補助事業としてどの範囲まで成り立つものか不確かなものでもあると言えるが、有効な支援制度の確立を望む。</p>

今後の取組	<p>令和8年度には、地区内において大阪工業大学、大阪公立大学、奈良女子大学と官学連携事業として、耐震対策調査を進める一環として、公共施設(宇陀市まちづくりセンター「千軒舎」)内において、伝統的な建物に調和し、住みながら施工が簡易な耐力壁(格子状)を地元の設計士、大工、学生で設置を行う。今後は、住民に向けて耐震対策調査の報告会を松山まちづくり協議会と共催して、行い、その必要性を啓発しながら、令和8年度を目途に、耐震補強における補助制度改正を行うこととする。</p>		
	方針	I	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	38
------	----

事業の情報	事業名	文化財保存修理等補助事業		担当課	文化財課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】補助金制度を活用して国・県・市指定文化財(以下、「指定文化財」という。)に対し所有者(個人・自治会等)の経費の負担を軽減する。また、指定民俗文化財を維持伝承していくため、後継者を育成するための経費の負担軽減を図る。</p> <p>【内容】指定文化財の所有者が行う防災設備点検、建造物等の保存修理、防災設備設置、環境整備(庭木剪定等)に対して補助金を交付する。また、指定民俗文化財伝承や後継者育成経費等、文化財保護に対して補助金を交付する。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】市内の貴重な指定文化財の修理点検事業等に際して、所有者の負担を軽減されることを目的に、予算の範囲内において、補助事業を行う。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和6年度の補助事業は、保存修理4件、環境整備1件、民俗文化財伝承3件、防火設備点検14件であった。</p> <p>【課題】補助金制度を活用し、文化財所有者(自治会等)は、貴重な文化財を次の時代まで引き継いでもらう必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>民俗文化財や伝承等は母体となる行事そのものが実施不可能になるような事態が発生した場合は存続不可能となる。県のライブラリーにも資料は保存されていると思うが、市としても、映像として記録したり、活動(発表)の場を提供したりするなどの支援をお願いしたい。</p> <p>文化財は次世代へ伝えていくべき財産であり、その保存は是非必要である。保存をしていくためには経費が発生するが、限られた補助金や所有者の負担などから維持管理は事実問題として困難なものである。出来るだけ原型で残していけるようあらゆる補助や支援を願いたい。</p>
------------	--

今後の取組	<p>令和7年度には、奈良県立民俗博物館が主催する「ならみんぱく」において、室生の獅子神楽が出演する予定となっており、市外の方々にも、民俗芸能が引き継がれていることをアピールする機会などの支援を行っていく。</p> <p>また、文化財保護法においては、通常の維持管理に関する補助制度は認められていないが、民間の助成事業やクラウドファンディングなどの新たな支援制度が確立されてきており、公的支援制度だけでなく、このような制度があることを指導助言の中で、説明を続けていく。</p>	方針	I
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	39
------	----

事業の情報	事業名	埋蔵文化財発掘調査事業		担当課	文化財課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内の埋蔵文化財を保存及び記録し、保護対策を講じる。</p> <p>【内容】市内遺跡の発掘調査、個人の開発に先立つ事前の発掘調査、遺跡保存を目的とした範囲確認調査、発掘調査後の成果整理、市内遺跡の分布調査、出土遺物の保存処理、公共工事に伴う事前発掘調査等を実施する。</p> <p>また、埋蔵文化財に関する説明会や歴史文化講演会を行い、宇陀の歴史について知ってもらう機会をつくる。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】不動塚古墳の貴重な出土遺物の保存処理を引き続いて行うと共に、市民を対象に、これまでの発掘調査の成果を披露するための、企画展示を実施する。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】国庫補助事業で不動塚古墳(菟田野稲戸地内)の出土品の整理・分析を行った。また榛原総合センターにて、「発掘された宇陀の城郭跡」と題した期間展示を行い、これまで史跡宇陀松山城跡、澤下城での発掘成果のパネル、遺物の展示を行った。</p> <p>【課題】出土品の分析・整理を極力早く終了させるとともに、出土遺物についての報告を行う必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>本年度の目標である「発掘調査の成果を披露するための企画展示」が実現したことは素晴らしい。考古学に興味をもつ人も多いと思うので、今後も多くの人に見てもらえるように努めていきたい。</p> <p>遺跡など考古学に興味がある人はもちろん、市民の方々も地元の歴史には関心があるものであるため、講演会や展示を多様な形で開催し、多くの人々の目に触れる機会を作ってもらいたい。</p>
------------	--

今後の取組	<p>例年通り、企画展として、発掘調査の成果や地域の歴史や文化財に関する展示や講演会を継続して行っていく。</p> <p>また令和8年から9年にかけて、NHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」が放映される予定であることから、来訪者の増加が予想されるため、観光部局と調整を行いながら、史跡宇陀松山城跡や重伝建地区を訪れていただくための散策マップや企画展、ARを使った新たなアイテムの創造を進めていく。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する

3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	40
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	史跡宇陀松山城跡保存整備事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】貴重な史跡である宇陀松山城跡の保存整備事業を行うため、公有地化を行った範囲を中心に城跡を整備していく。</p> <p>【内容】平成29年及び令和5年に発生した大規模な斜面崩落により、保存整備事業を中断し、災害復旧事業を継続して進めていくと共に、史跡整備に必要な箇所の公有化も進めていく。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】災害復旧事業に際して、適切な範囲での発掘調査を実施し、この成果を考慮した災害復旧工法の検討を行い、追加実施設計業務を行う。</p> <p>また本復旧工事前に、城跡北側斜面の再崩落を防ぐため、仮設保護工事を実施する。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和6年度には、北側の大規模崩落斜面の仮設保護工事を実施すると共に、新たに地盤状況を把握するために、城跡に傾斜計を設置し、災害復旧工事の安全確保と崩落の予兆を観光客に知らせるための対策を実施し安全確保を行った。</p> <p>また登城者の利便性を高めるため、城跡や登城路の草刈や案内看板を新設した。</p> <p>【課題】令和5年6月の台風により新たに土砂崩れが発生し、文化庁や県の指導により遺構確認調査の実施、災害復旧工事の設計・工法の変更と事業を見直しを行っている。令和6年度に史跡宇陀松山城跡保存整備委員会の意見を受け、遺構を保存するための、地盤の治水対策、遺構確認調査を行っている。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>保存整備事業として進める中で台風被害等による土砂崩れ地の遺構確認調査も加わり、さらに仕事が複雑になっているようだが、公用地化は予定通り進んでいるとのことであった。災害復旧工事の安全確保と観光客の安全確保を同時に進めることは大変だと思うが、文化庁や県の指導を受けながら粛々と進めてほしい。</p> <p>災害復旧工事を進めていくために、仮設保護工事の実施にあわせて、安全確保を有しながら保存整備を実施していくことは大変だと思うが、観光客の安全を守るためにも欠かせない取組であるため、これからも粘り強く進めていただきたい。</p>
------------	--

今後の取組	<p>災害復旧事業を行うにあたり、考古学だけでなく、土工学や地盤工学の専門家の知見の必要度が増しているため、史跡宇陀松山城跡保存整備委員会の下部組織として、災害復旧部会を新たに設けて、他部署の土木技師をワーキンググループに入れ、持続可能な整備事業を念頭に置いた、市役所内部の体制強化を図っていく。</p> <p>また、災害復旧事業を行うにあたり、観光客や工事施工業者の安全確保を行う必要性もあるため、傾斜計や水位計の設置を強化し、遺構に影響のない災害復旧工法の選定を図り、事業を進めていく。</p>		
	方針	I	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	41
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	国指定天然記念物等保護再生事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内の存在する国指定の天然記念物(スズラン・オオサンショウウオ・カザグルマ等)を保護し再生を図る。</p> <p>【内容】向淵スズラン群落は、環境の変化により衰退傾向にあり、環境調査を行う。オオサンショウウオは、日本固有種の保護が急務であり、交雑個体の緊急調査を実施する。カザグルマは、生育環境の改善を図り保全対策を行う。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】スズラン、オオサンショウウオ、カザグルマなどの保護調査を引き続いて実施し、その再生を図る。
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】スズランは、分布調査・生育調査を行い「タヌキヤブ地区」において開花株数の減少が続いており、「オクシバ地区」は、昨年と同様、1個体であるが開花した。カザグルマは、ササの刈り取り、常緑樹の剪定を行ったが、高木による日照の悪化で、開花数は前年度83から56に減少した。オオサンショウウオは、56個体を捕獲し、うち新規個体16個体の遺伝子鑑定を行い3個体に交雑判定がでた。</p> <p>【課題】交雑種の生息範囲を下流の河川から上流に遡上することを今後も防いでいく必要がある。</p>					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>環境の変化により天然記念物の生育状況も変化していくと推察される。特に向淵のスズランは日本スズランの自生南限地であるが、温暖化により消滅の危機にあるのではないかと心配される。また、カザグルマやオオサンショウウオについても貴重な生物であるので、地域住民の理解や協力も得ながら保護活動を地道に進めていってほしい。</p> <p>天然記念物の保護活動には肅々と、また逆に熱い努力が必要である。そういった活動が広く知られることによって市民の興味も湧いてくるのではないかと。</p>
------------	--

今後の取組	<p>向淵スズラン群落地については、長年、地元自治会や保存会の協力を得たことにより、飛躍的に改善されており、この関係を緩めることなく、不断なく継続を推進していく。</p> <p>カザグルマ自生地については、文化庁の補助事業を受け、定期的な高木の伐採や生息調査を続けているが、個人所有地ということもあり、所有者の管理が適切な状態ではないことから、今後、市が管理団体として、事業を行っていくことを検討しなければならない状態である。</p> <p>ツルマンリョウ群落地については、令和5~6年度に大阪公立大学と協働で分布調査を行い、その結果を令和8年度に保存会にて説明会を行う予定であるが、遺伝子分析の結果、雄株のみの個体群であることが判明したため、結実は出来ないことが判明した。</p>	方針	2
-------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	42
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	宇陀三城御城印作製事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀三城(宇陀松山城・芳野城・澤城)を御城印でPRし、宇陀市を訪れ、市のことを知ってもらおう。</p> <p>【内容】発売場所は、宇陀松山城(秋山城)御城印は、宇陀市松山地区まちかどらボ、芳野城御城印は奈良カエデの郷ひららと菟田野アグリマートに販売委託、澤城は旧旅籠あぶらやにて1枚300円で発売。また宇陀紙を使った宇陀松山城特別御城印は1枚500円で発売。御城印帳は1冊1,500円。</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	<p>【目標】令和4年度から販売を開始した御城印については、好評であるため、引き続き奈良芸術短期大学と協働で、デザインの更新を図っていく。</p> <p>また宇陀三城を通して、本市への観光客への誘客を促進するため、「大和お城まつり」への初参加を目指す。</p>
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】通常販売分に加え3月と11月に期間限定版オリジナル御城印をデザインし販売した。また奈良県コンベンションセンターにて8月10、11日に開催された「大和お城まつり」に初めて参加し、御城印等を販売し、2日間で94,200円を売り上げた。総売り上げは、1,302,690円となり、令和5年度の1,143,040円から増加した。</p> <p>このことにより、貴重な一般財源の確保を行うことができた。</p> <p>【課題】通常販売だけでなくデザインの刷新や期間限定版を作りPRを続けていく必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>昨年度の課題であった期間限定版でのPRは、「大和お城まつり」への参加という形で実現された。それにより売り上げも伸びたことは喜ばしい。県内の大学との協働を進めることも大切なことであると思うので、今後も進めてもらいたい。</p>
	<p>宇陀市に留まらず、あらゆる地域でのPR活動や、今回成功した大学との協働を皮切りに、昨今の流行に乗じた幅広い広報活動で、宇陀市に三城有りということを広めてほしい。</p>

今後の取組	<p>令和6年度に引き続き、令和8年度に大和お城まつりの出店を行う。また大河ドラマ関連事業として、お城EXPOへの参画も行い、知名度の強化や来訪者の増加を目指す。</p> <p>令和8年度から、「続百名城御城カード」を他域と同様に販売を開始する予定である。</p> <p>また大河ドラマに併せて、大和郡山市、高取町と歩調を併せた特別御城印を奈良芸術短期大学に作成を依頼し、周遊観光に寄与し、地域の活性化を目指す。</p>		
	方針		2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	43
------	----

事業の情報	事業名	宇陀市歴史文化館管理運営事業				担当課	文化財課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう				
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進				
事業の目的・内容	<p>【目的】薬の館は、江戸末期の建造物で、来訪者に伝統的建造物に対する理解を深めてもらい、旧旅籠あぶらやは、伊勢本街道と伊勢街道の分岐点である札ノ辻に位置し、旅籠を営んでいたが前身は油業であり、この施設の歴史・文化を知ってもらう。</p> <p>【内容】両施設とも市指定文化財で一般公開している。薬の館は、薬関連の資料をはじめ、薬問屋であった細川家の内部を展示する。また、旧旅籠あぶらやは、令和4年度から澤城の御城印を販売する。</p>						

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】地域資源としての文化財の活用を引き続き目指す。薬の館については、コロナ禍で好評であった鍾馗像をモチーフにしたポストカードをリニューアルし、入館券として来館者に渡すことにより、来館者の増加を目指す。
-------	----------	--

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】入館券として、鍾馗像のポストカードをプレゼントすることとし、薬の館の入館者数は、3,535人と昨年度の2,832人と比べ大幅な増加となった。また、旧旅籠あぶらやの入館者数も、1,575人で昨年度の1,318人と比べ大幅な増加となった。地域イベント「ほんのりあんどん」や「おかげまつり」においては夜間延長開館を行った。また旧旅籠あぶらやでは、市内の小中学生や宇陀高校生が、地域学習の一環として両館を訪れ、職員より話を聞く授業を続けており、地域資源の活用を担っている。					
		【課題】多くの人を訪れるようイベント時の開館、また、更に市内小中学校及び高校の地域学習の場となるよう活用していく。					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>歴史的価値のある建造物を維持管理していくことは大切であるが、ただ残すだけではなく積極的に活用し、少しでも市民や観光客に活用してもらえよう工夫することで認知度も向上し、PRにもなると思われる。今年度の取り組みにも工夫が見られる。常に社会の動きに目を向け、市民の目線や若者のアイデアも柔軟に取り入れたり、SNSを活用したりしながら今後も進めていってほしい。</p>
	<p>ポストカードやプロジェクションマッピングなどの工夫により入館者数が増加したことは大きな成果であった。今後も地域学習の一環として来館された方々など幅広い年齢層に対して、アイデア募集を行うなど、より一層の創意工夫を継続してほしい。</p>

今後の取組	<p>宇陀市歴史文化館「あぶらや」については、令和7年度にも連携協定の一環として、宇陀高校1年生にあぶらやと周辺の歴史(墨坂神社、榛原空襲)を学ぶ授業を行う。</p> <p>今後も、入館者にとって魅力ある施設運営を模索し、予算の範囲内においてブラッシュアップを続けていく。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和7年度(令和6年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	44
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	二十歳のつどい事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②宇陀のよさを次代へ継承、発展させる教育の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】二十歳迎える方が人生の節目を迎えることを祝福し、これからの人生に希望と夢を持って歩いていく出発点とするために開催する。 また、自らを振り返り、家族や友人、地域の方々との繋がりをあらためて実感し、より深める機会とする。</p> <p>【内容】記念式典…〔開式、国歌斉唱、お祝いの言葉(市長・議長)、来賓紹介、記念品目録贈呈、誓いの言葉〕 記念行事…〔漫オライブ、ビデオレター、インタビューコーナー〕※実行委員会主催</p>				

事業の目標	令和6年度の目標	【目標】一生に一度のイベントとなるこの「二十歳のつどい」により多くの方が出席できるように情報発信を行う。特に市外転出者へのダイレクトな案内は不可能なため、家族や友達等からの情報発信をお願いする旨の内容を加えて案内する。
-------	----------	---

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】「宇陀市二十歳のつどい」として文化会館で開催。実行委員会企画運営の記念行事は、終始和やかな雰囲気のもと楽しく開催することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員20名 ・対象者227名中、184名(出席率81.1%)の参加があった。 ・市外転出者の参加人数が34名であった。 <p>【課題】実行委員会を結成しているが、時代にあった開催内容等を実行委員と共に検討する必要がある。</p>			
		達成度	A	必要性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価支援員の意見	<p>より多くの方が参加できるようにするため、市外転出者にも目を向けた丁寧な情報発信に努め、昨年度を上回る参加率となったことや転出者の参加が34名になったことなどは、目標達成の結果であると言える。これは、新成人による実行委員会を組織し「自分たちがつくる」二十歳のつどいが定着していることも影響していると考えられる。今後は、課題にも示されているように開催内容を工夫し、更に魅力的なつどいとなることを願う。</p> <p>出席率が前年と比べてプラスとなった結果は、実行委員会の自主性や熱量が招いているものだと考えられる。今後も特に転出者の参加者数増加という部分については、案内状を活用しての呼び込みなどますますの工夫を期待する。</p>
------------	--

今後の取組	<p>二十歳のつどい対象者への案内は、市内に住所がある方には、11月1日現在のデータを基にダイレクトメールで案内できるが、転出者の参加については本人または家族からの問合せによるものになる。転出者への宇陀市式典への参加を促すには、友人からの声かけも有効手段と考える。実行委員からの声かけから拡散できるように実行委員会開催時に周知して、より多く参加いただけるようにする。</p> <p>実行委員会設立がスムーズに進むように、広報等で募集開始すると同時に関係者に声をかける等の対応をする。</p>	
	方	針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

5 まとめ

宇陀市では、平成 28 年 3 月に宇陀市教育大綱を策定してから一定期間が経ち、その成果と課題を踏まえ、令和 6 年度より新たな宇陀市教育大綱を策定することになりました。

この間、子どもたちを取り巻く環境は、少子高齢化や過疎化、グローバル化、高度情報化、さらにはコロナ禍等により、依然として急激に変化しています。このような複雑で予測困難な社会において、子どもたちが自立し、主体的にたくましく未来を切り開いていける力を育む教育を実現するため、宇陀市総合教育会議において協議を重ね、新たな教育大綱について、基本目標及びそれらを推進するための基本方針を定めました。

令和 6 年度は、第 3 期宇陀市教育大綱に沿った事業の初年度となります。

時代とともにめまぐるしく変化していく社会に対して、自ら課題を見出し、学び、考え、そして行動できる力を持った子どもたちの育成を目指し、ここに令和 6 年度の教育施策を振り返り、その成果及び課題を次年度の施策へと反映してまいる所存です。今後も、子どもたちが健やかに、そして幸せに成長するために、地域や職場など社会全体で子育てを支援する施策を一層充実させるとともに、学校教育の充実やスポーツ・文化活動の振興を図りながら、幅広い施策の展開に全力を尽くしてまいります。

【参考】

4つの基本目標

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ・社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう | ～学校でのひとづくり～ |
| ・家庭の豊かな教育力を育もう | ～家庭教育でのひとづくり～ |
| ・地域全体で子どもを見守ろう | ～地域でのひとづくり～ |
| ・「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう | ～つながりづくり・生きがいづくり～ |